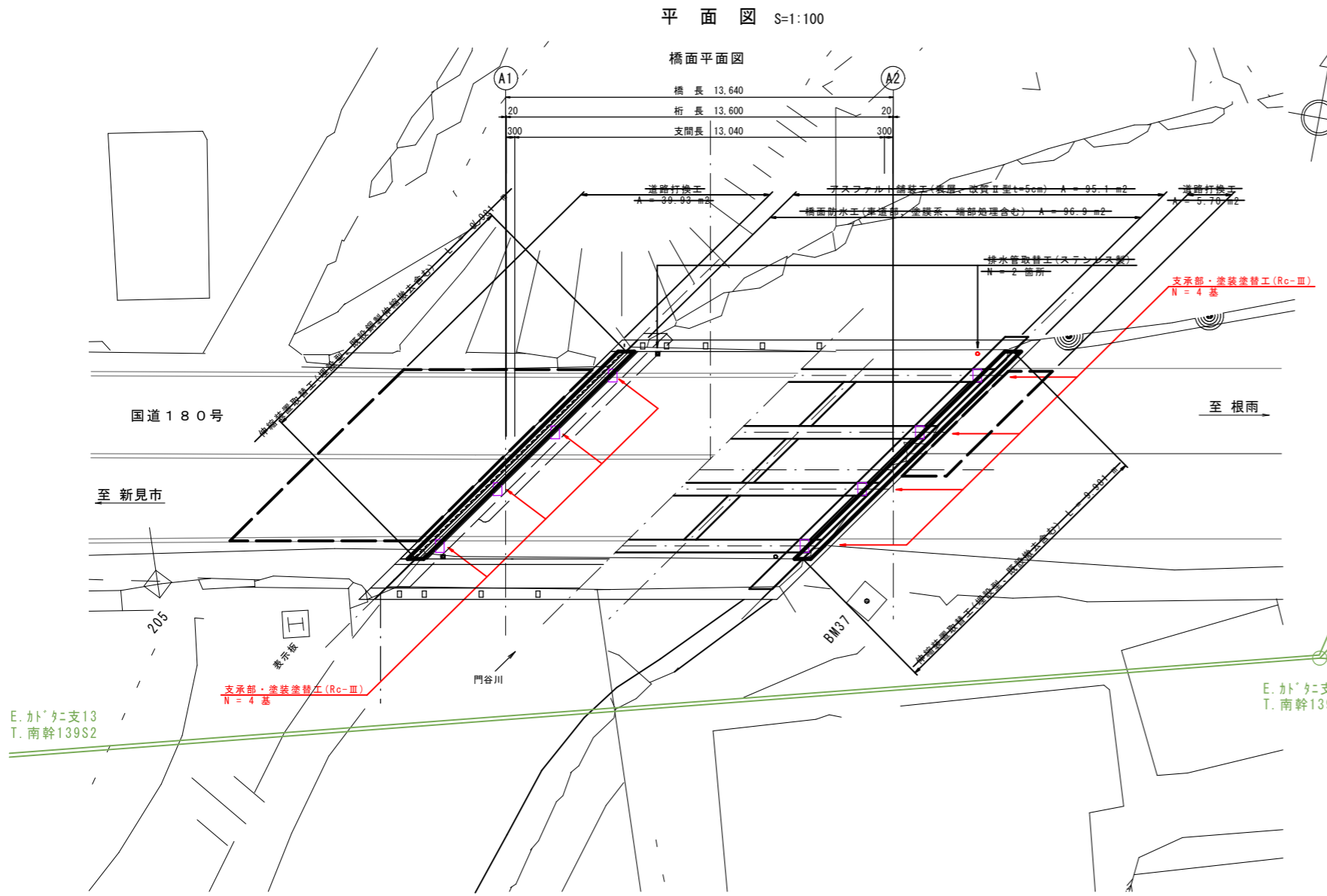
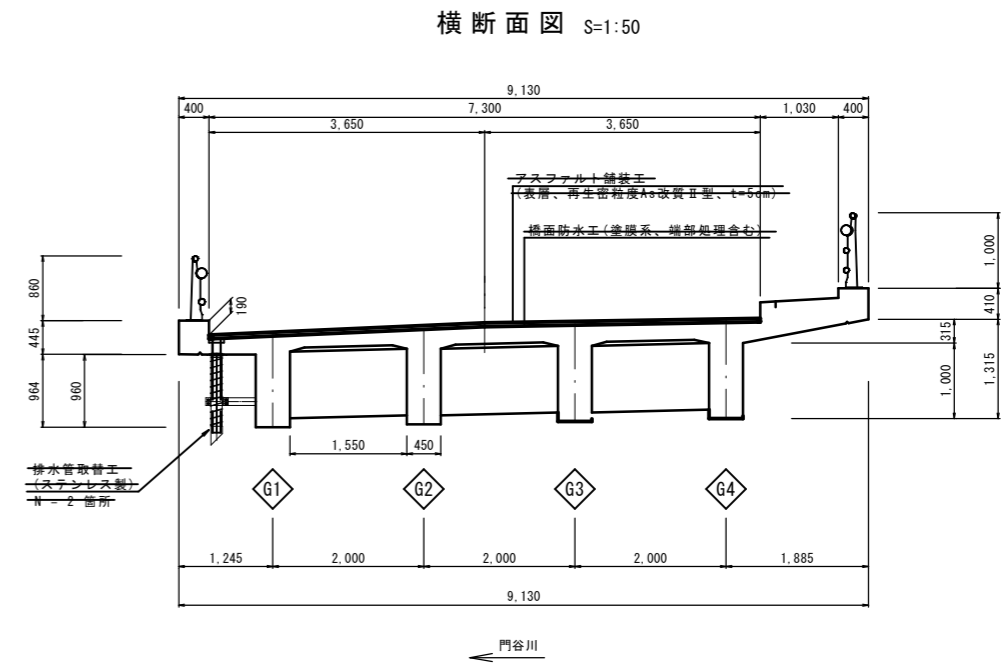
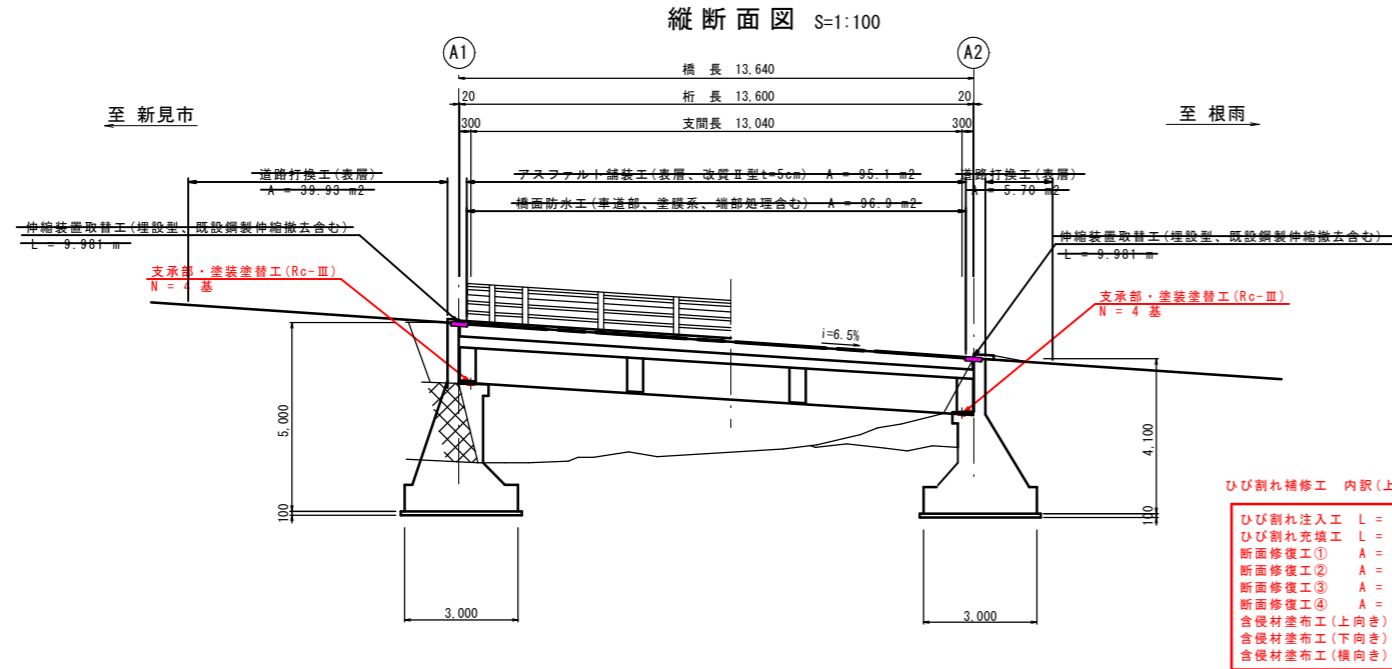


四 面

【門之上橋】

門之上橋 補修一般図

非出水期(11月~4月)施工



- 補修工事内容
- ひび割れ補修工
 - 伸縮装置取替工
 - 橋面防水工
 - 排水管取替工
 - アスファルト舗装工
 - 道路打換工
 - 区画線工

竣工時・設計条件	
路線名	国道180号
道路規格	推定 3種3級(設計速度V=50km/h)
大型車交通量	494台/日(R2橋梁点検調査より)
緊急輸送道路指定	第1次緊急輸送道路
橋名	門之上橋
渡河条件	門谷川
設計荷重	1等橋(TL-20t)
橋長	13.640m
支間長	13.000m
幅員	有効幅員 8.33m 全幅 9.13m
平面線形	R=∞(直線区間中)
横断勾配	3.0%山勾配
縦断勾配	6.5%直線勾配
斜角	左44.6°
雪荷重	不明
形式	上部工 単純鉄筋コンクリートT桁橋 下部工(基礎工) A1橋台 推定:重力式橋台(直接基礎) A2橋台 推定:重力式橋台(直接基礎)
支承条件	A1-M(可動)、A2-F(固定)
竣工年月	昭和33年3月(1958.3)
供用年数	約64年経過(令和4年3月現在)
適用図書	S31 コンクリート示方書

- 補修履歴
- H21橋梁補修工事
- 主桁の炭素繊維補強
 - 主桁の断面修復工(無収縮グラウト)
 - 橋面舗装工(A5舗装、 $t=5\text{cm}$)
 - 防護柵取替え(車道側、歩道側)
 - 地覆コンクリート打ち換え

起工	
路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)	
図名	補修一般図 (其の)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 6 葉中の内 1
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	
門之上橋	

施工上の注意点

- 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

門之上橋補修図 (その1)

1 : 100

断面修復工

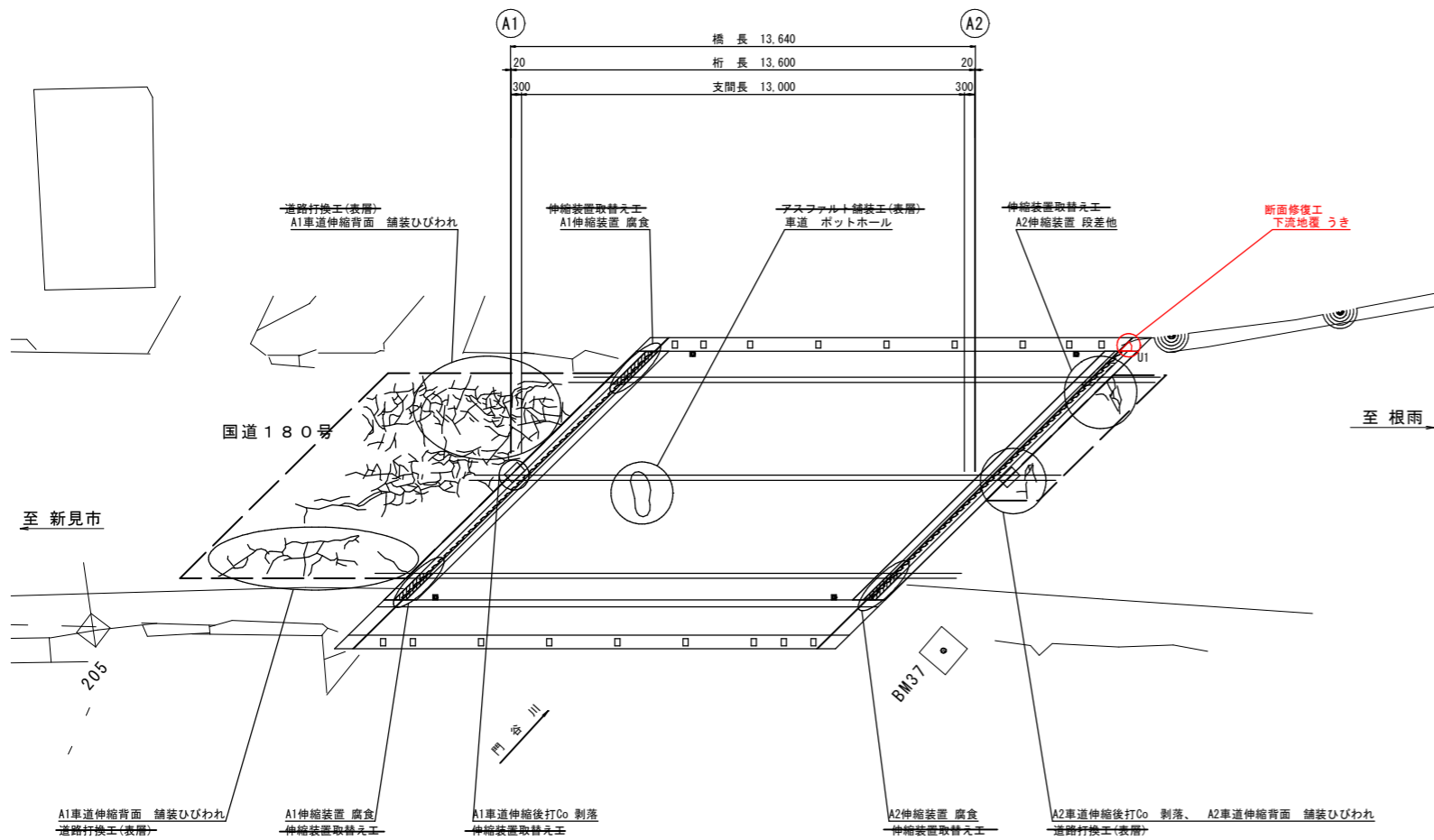
浮き・剥落部

- U1 A= 0.052 m²
- U2 A= 0.050 m²
- U3 A= 0.088 m²
- U4 A= 0.040 m²
- U5 A= 0.030 m²
- U6 A= 0.030 m²

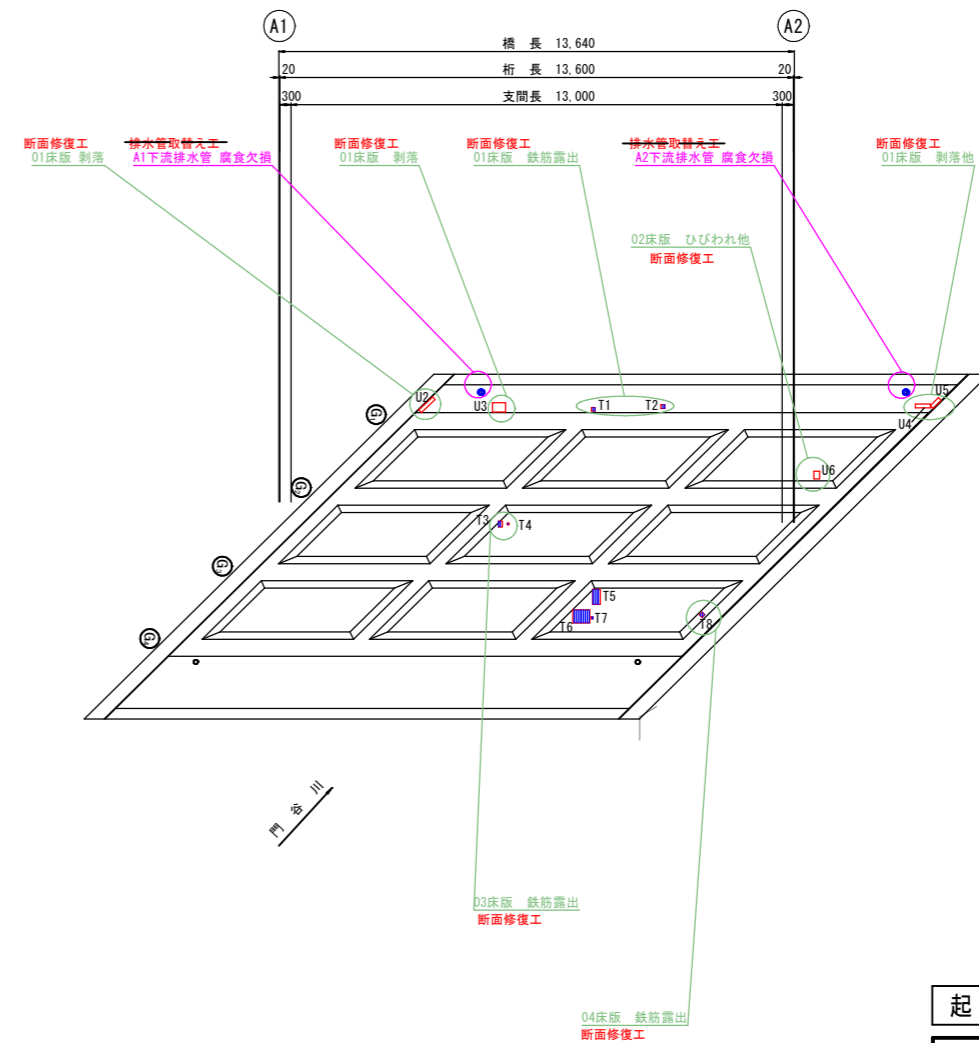
鉄筋露出部

- T1 A= 0.010 m²
- T2 A= 0.010 m²
- T3 A= 0.015 m²
- T4 A= 0.003 m²
- T5 A= 0.080 m²
- T6 A= 0.158 m²
- T7 A= 0.003 m²
- T8 A= 0.010 m²

橋面 平面図



床版下面 平面図



凡例 (旗揚げ)

○	舗装変状
○	コンクリート変状
○	鋼材、附属物変状
	写真番号

凡例 (舗装変状)

□	ポットホール、うき
□	補修跡、段差
〰	舗装ひびわれ
□	その他

凡例 (conひびわれ)

〰	0.2mm以下	—
〰	0.2mm~1.0mm	緑C 番号
〰	1.0mm以上	赤C 番号
□	遊離石灰閉塞	—
□	目地、打継開き	—

凡例 (con変状)

□	うき・剥落	U 番号
□	鉄筋・鋼材露出	T 番号
□	豆板・摩耗	M 番号
□	遊離石灰	—
□	漏水	—
□	その他	—

凡例 (鋼材変状)

□	腐食欠損	—
□	腐食	—
□	防食機能の劣化	—
□	その他	—

補修工法凡例

- 緑C 番号—ひび割れ注入工
 - 赤C 番号—ひび割れ充填工
 - U 番号—断面修復工①、④
 - T 番号—断面修復工③
 - M 番号—断面修復工②
- ※ 断面修復工④は、木片混入部で適用

※ 0.2mm以下のひび割れ、遊離石灰閉塞は非表示としている。(補修対象としないため)

施工上の注意点

- ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

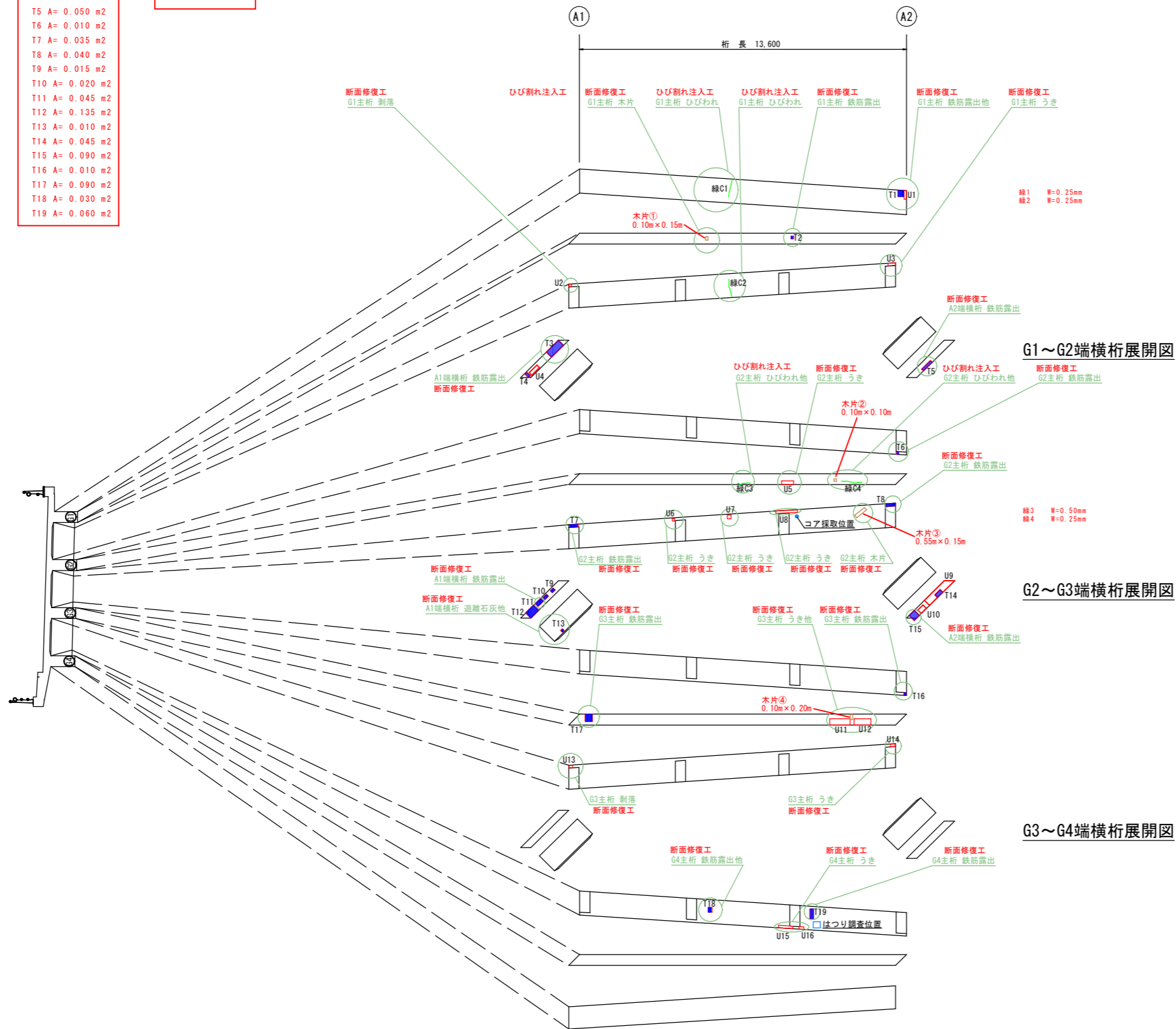
起工

路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)	
図名	補修図 (其の1/3)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 6 葉中の内 2
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	
門之上橋	

門之上橋補修図 (その2)

1 : 100

主桁、横桁 展開図



ひび割れ注入工

線C1 L= 0.77 m
線C2 L= 0.74 m
線C3 L= 0.56 m
線C4 L= 0.89 m

断面修復工

浮き・剥落部

U1 A= 0.035 m ²
U2 A= 0.010 m ²
U3 A= 0.030 m ²
U4 A= 0.068 m ²
U5 A= 0.075 m ²
U6 A= 0.010 m ²
U7 A= 0.023 m ²
U8 A= 0.090 m ²
U9 A= 0.345 m ²
U10 A= 0.060 m ²
U11 A= 0.213 m ²
U12 A= 0.175 m ²
U13 A= 0.015 m ²
U14 A= 0.020 m ²
U15 A= 0.060 m ²
U16 A= 0.020 m ²

断面修復工

鉄筋露出部

T1 A= 0.063 m ²
T2 A= 0.010 m ²
T3 A= 0.210 m ²
T4 A= 0.020 m ²
T5 A= 0.050 m ²
T6 A= 0.010 m ²
T7 A= 0.035 m ²
T8 A= 0.040 m ²
T9 A= 0.015 m ²
T10 A= 0.020 m ²
T11 A= 0.045 m ²
T12 A= 0.135 m ²
T13 A= 0.010 m ²
T14 A= 0.045 m ²
T15 A= 0.090 m ²
T16 A= 0.010 m ²
T17 A= 0.090 m ²
T18 A= 0.030 m ²
T19 A= 0.060 m ²

断面修復工

木片混入部

W1 A= 0.015 m ²
W2 A= 0.010 m ²
W3 A= 0.083 m ²
W4 A= 0.020 m ²

凡例 (旗揚げ)

○	コンクリート変状
○	鋼材、附属物変状
	写真番号

凡例 (conひびわれ)

〰	0.2mm以下	—
〰	0.2mm~1.0mm	緑C 番号
〰	1.0mm以上	赤C 番号
〰	遊離石灰閉塞	—
〰	目地、打継ぎ	—

凡例 (con変状)

□	うき・剥落	U 番号
□	鉄筋・鋼材露出	T 番号
□	豆板・摩耗	M 番号
□	遊離石灰	—
□	漏水	—
□	その他	—

補修工法凡例

緑C 番号—ひび割れ注入工

赤C 番号—ひび割れ充填工

U 番号—断面修復工①、④

T 番号—断面修復工③

M 番号—断面修復工②

※ 断面修復工④は、木片混入部で適用

※ 0.2mm以下のひび割れ、遊離石灰閉塞は非表示としている。(補修対象としないため)

施工上の注意点

- ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

起工	
路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)	
図名	補修図 (其の2/3)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 6 葉中の内 3
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	
門之上橋	

門之上橋補修図 (その3)

1 : 100

A1 橋台

A2 橋台

側面図(上流側)

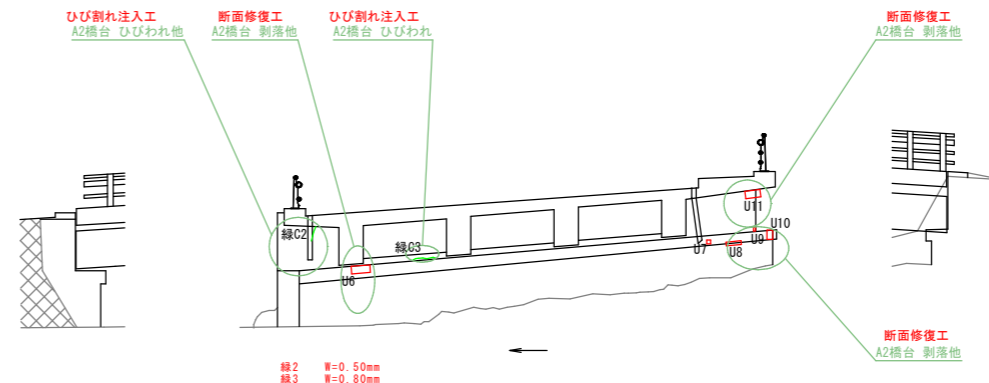
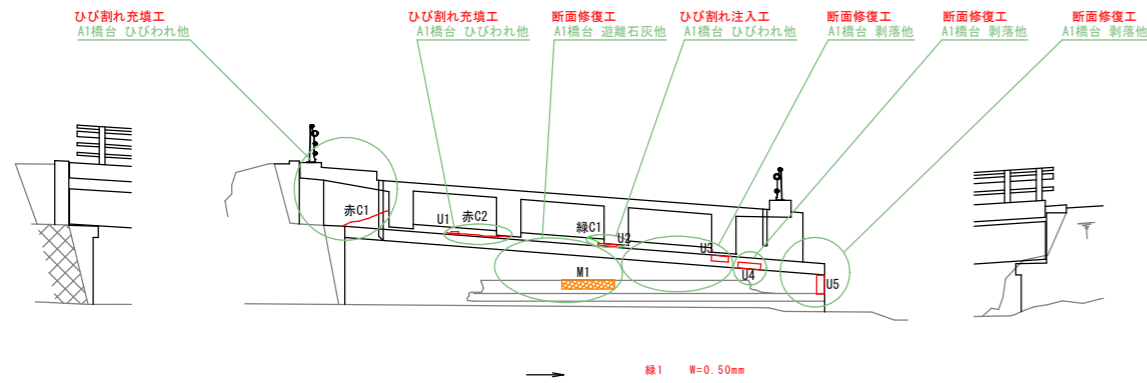
正面図

側面図(下流側)

側面図(下流側)

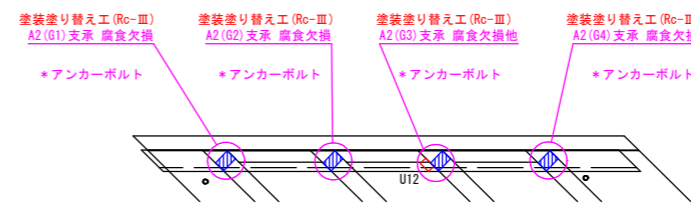
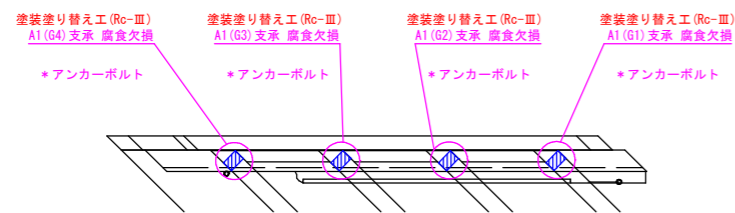
正面図

側面図(上流側)



平面図

平面図



ひび割れ注入工		断面修復工	
緑C1	L= 0.31 m	浮き・剥落部	
緑C2	L= 0.40 m	U1	A= 0.010 m ²
緑C3	L= 0.61 m	U2	A= 0.025 m ²
		U3	A= 0.068 m ²
		U4	A= 0.090 m ²
		U5	A= 0.100 m ²
		U6	A= 0.100 m ²
		U7	A= 0.010 m ²
		U8	A= 0.040 m ²
		U9	A= 0.005 m ²
		U10	A= 0.038 m ²
		U11	A= 0.080 m ²
		U12	A= 0.060 m ²
ひび割れ充填工		豆板・摩耗部	
赤C1	L= 1.30 m	M1	A= 0.350 m ²
赤C2	L= 1.65 m		

凡例 (旗揚げ)

○	コンクリート変状	
○	鋼材、附属物変状	
	写真番号	

凡例 (conひびわれ)

—	0.2mm以下	—
〰	0.2mm~1.0mm	緑C 番号
〰	1.0mm以上	赤C 番号
〰	遊離石灰閉塞	—
〰	目地、打継ぎ	—

凡例 (con変状)

〰	うき・剥落	U 番号
〰	鉄筋・鋼材露出	T 番号
〰	豆板・摩耗	M 番号
〰	遊離石灰	—
〰	漏水	—
〰	その他	—

凡例 (鋼材変状)

〰	腐食欠損	—
〰	腐食	—
〰	防食機能の劣化	—
〰	その他	—

補修工法凡例

緑C 番号—ひび割れ注入工
 赤C 番号—ひび割れ充填工
 U 番号—断面修復工①、④
 T 番号—断面修復工③
 M 番号—断面修復工②

※ 断面修復工④は、木片混入部で適用

※ 0.2mm以下のひび割れ、遊離石灰閉塞は非表示としている。(補修対象としないため)

施工上の注意点

- ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

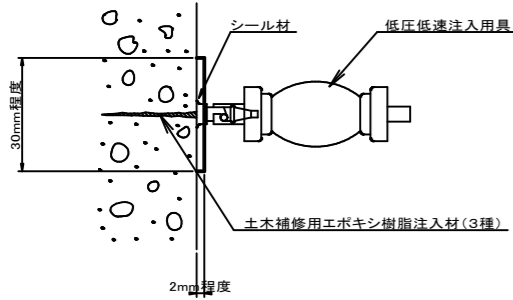
路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)	
図名	補修図 (其の3/3)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 6 葉中の内 4
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	
門之上橋	

補修構造図

ひび割れ補修工

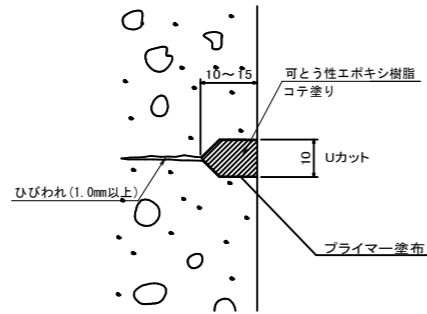
ひびわれ注入工 (ひび割れ幅 0.2mm以上1.0mm未満)

※注入用具の取付ピッチは300mmを標準とする。



ひびわれ充填工 (ひび割れ幅 1.0mm以上)

ひび割れの挙動が小さい場合: ポリマーセメントモルタル
ひび割れの挙動が大きい場合: 可とう性エポキシ樹脂

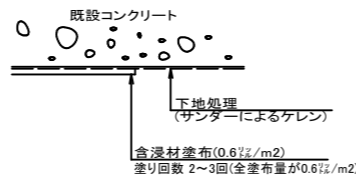


含浸材塗布工

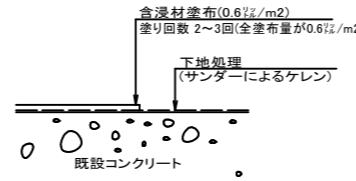
含浸材塗布工 S=1:10

- ①塩害、中性化対策
- ②0.2mm未満のひび割れ充填

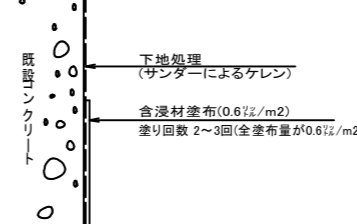
水平上向き塗りの場合



水平下向き塗りの場合



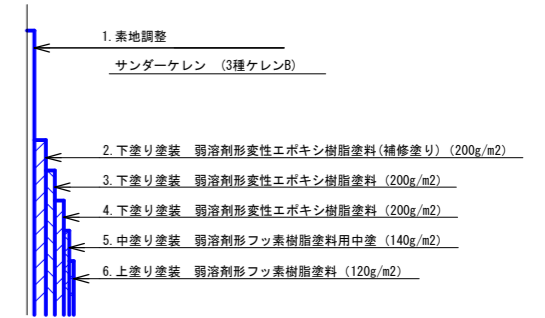
垂直横向き塗りの場合



※ プロテクトシルCIT相当品(鉄筋腐食抑制の効果が期待できる材料)による塗布とする。
※ 塩害、中性化対策として同等以上の効果が得られれば市場性を考慮し、材料の変更も可能である。
※ 本材料の使用にあたっては、所定の養生時間を必ず確保すること。

塗装塗り替え工

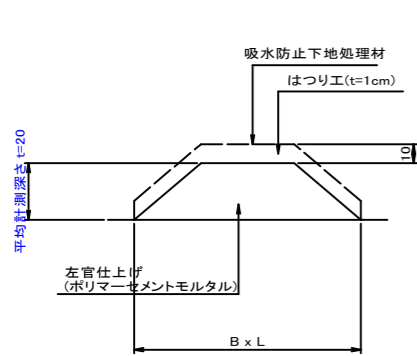
支承・塗装塗替仕様 (Rc-III)



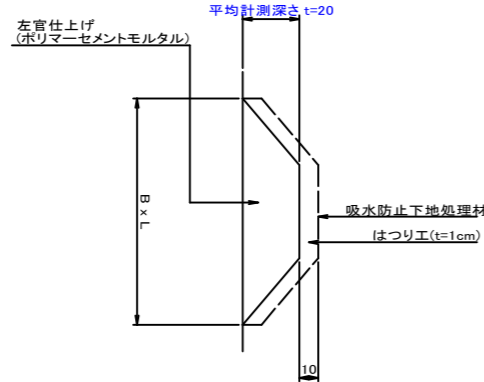
断面修復工

左官工法タイプ① S=1:2 浮き・剥落部

【水平上向き面】

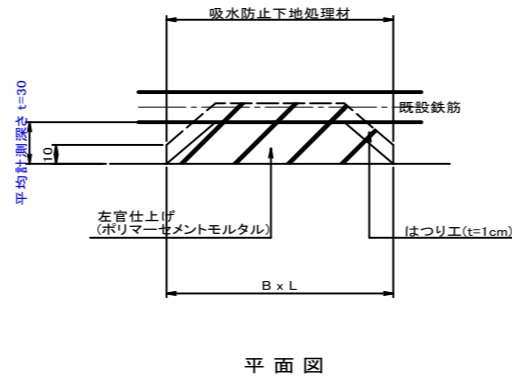


【垂直横向き面】

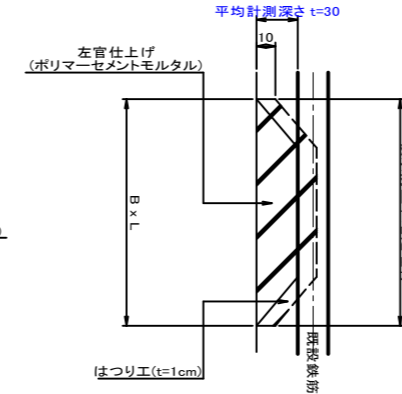


左官工法タイプ③ S=1:2 鉄筋露出部

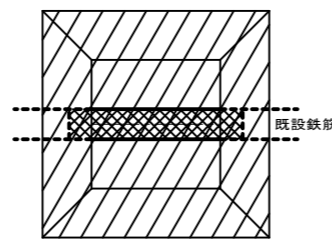
【水平上向き面】



【垂直横向き面】

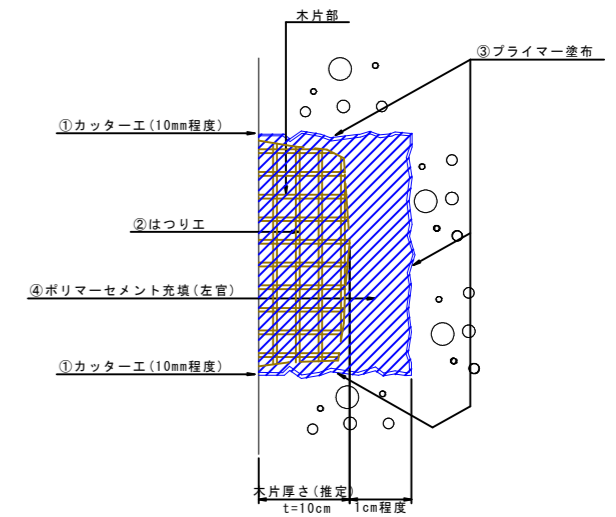


平面図



- はつり工・下地処理・左官仕上げ部
- 既設鉄筋の防錆処理部

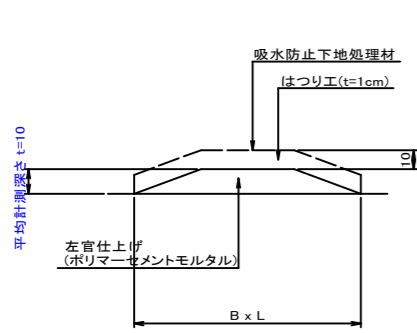
左官工法タイプ④ 木片混入部



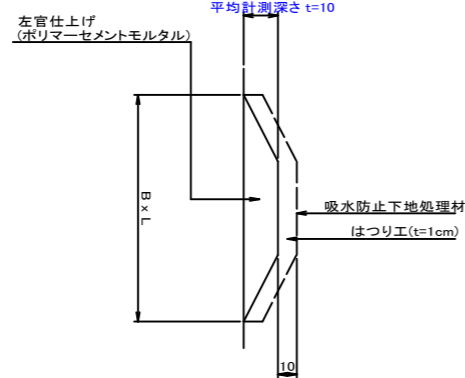
※はつり工の深さは110mmと想定した。
①~④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

左官工法タイプ② S=1:2 豆板・磨耗部

【水平上向き面】

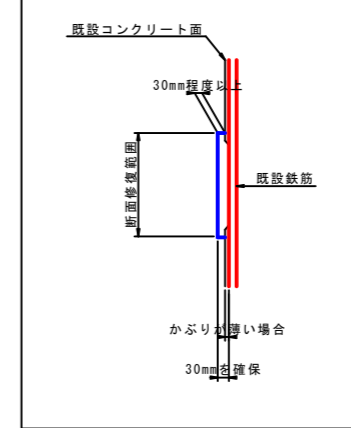


【垂直横向き面】



参考図

【かぶり不足している箇所の鉄筋露出部】



※ かぶり不足箇所の断面修復は、既設コンクリートよりも1cm程度以上盛り上げて、復旧後に30mm程度のかぶりが取れるよう施工する。

施工上の注意点

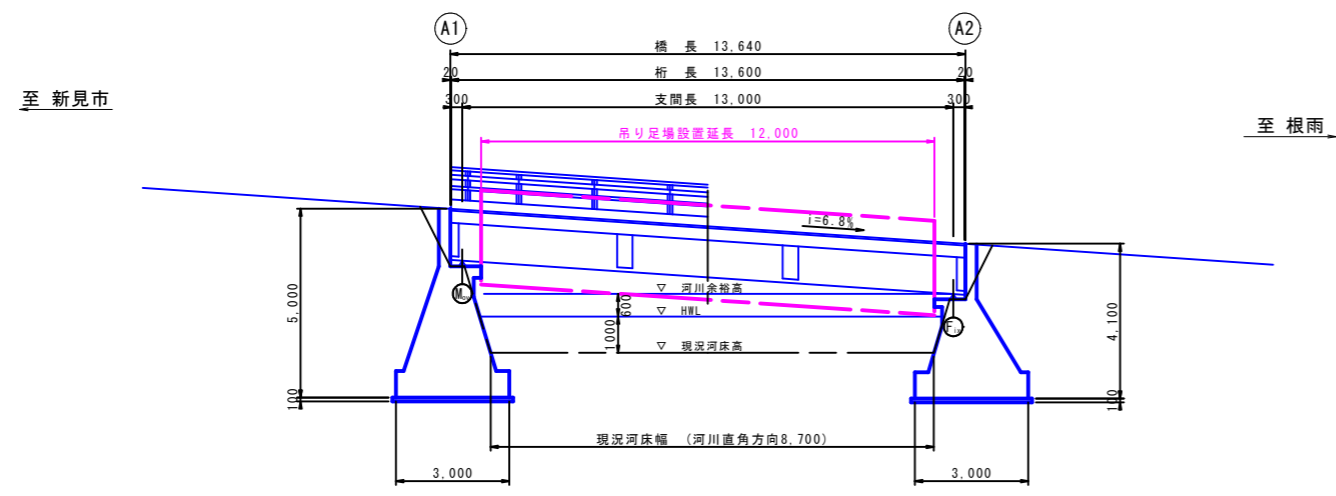
- ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

起工

路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)	
図名	補修構造図 (其の)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 6 葉中の内 5
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	
門之上橋	

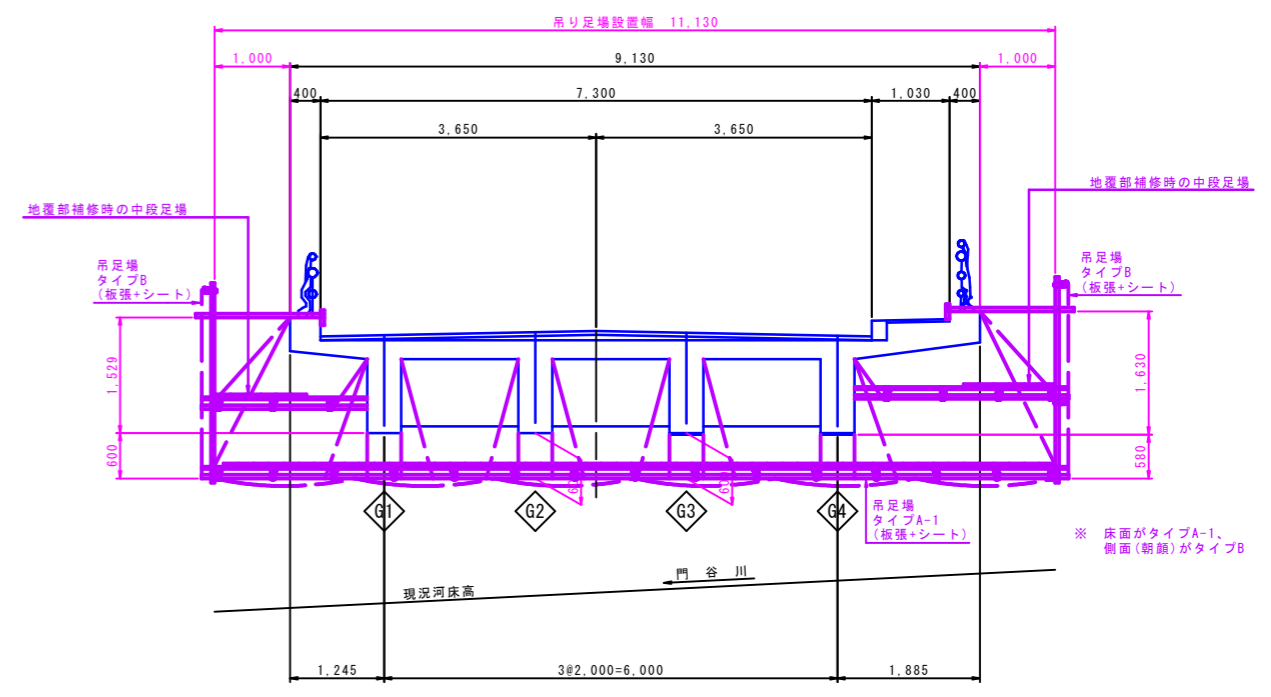
仮設計画図(吊り足場)

縦断面図 S=1:100



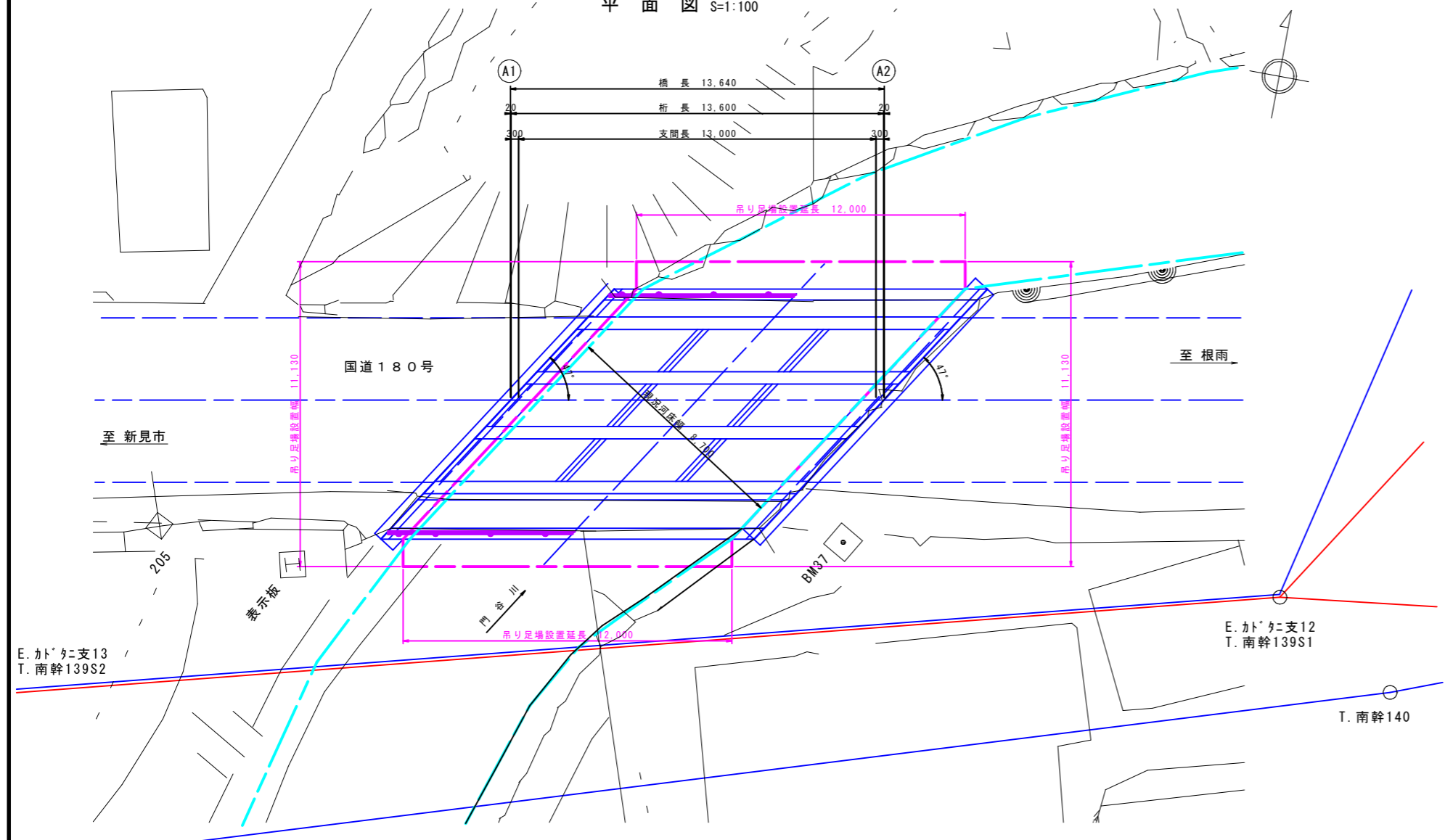
※ 下部工形状、河川断面は推定である。
 (既存資料が無い場合、橋梁の規模より推定)

横断面図 S=1:50



※ 含浸材は液体(ジェル状)であるため、塗装作業と同等の防護を行うものである。

平面図 S=1:100



吊り足場 参考条件

- ※ 吊り足場の強度計算に使用する荷重条件は以下を基本とする。
 1スパン当たり
 ①作業員3名(70kg×3人=210kg)
 ②工具等10kg程度
 ③資材等50kg程度
 総重量ΣW=270kg
 衝撃等の割り増し 1.2程度
 基本重量 W=270kg×1.2=324kg以上

起工 (参考図)

路線名	国道180号		
図名	国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)		
位置	日野郡 日野町 門谷		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 6 葉中の内 6		
令和 8 年度施行	鳥取県		
日野振興センター 日野県土整備局			
門之上橋			

施工上の注意点
 ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
 ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

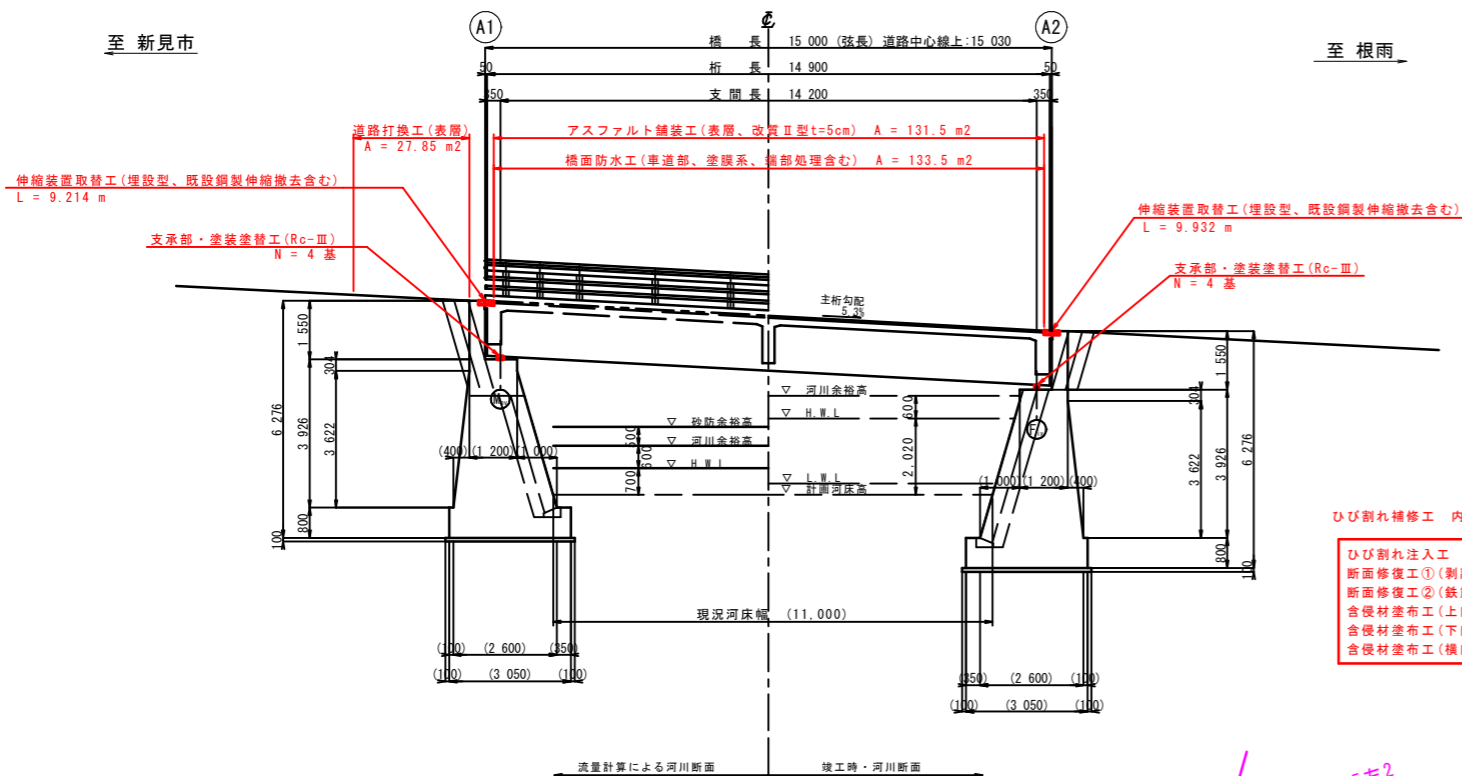
四 面

【新三栗橋】

新三栗橋 補修一般図

通年施工(出水期、非出水期間問わず)

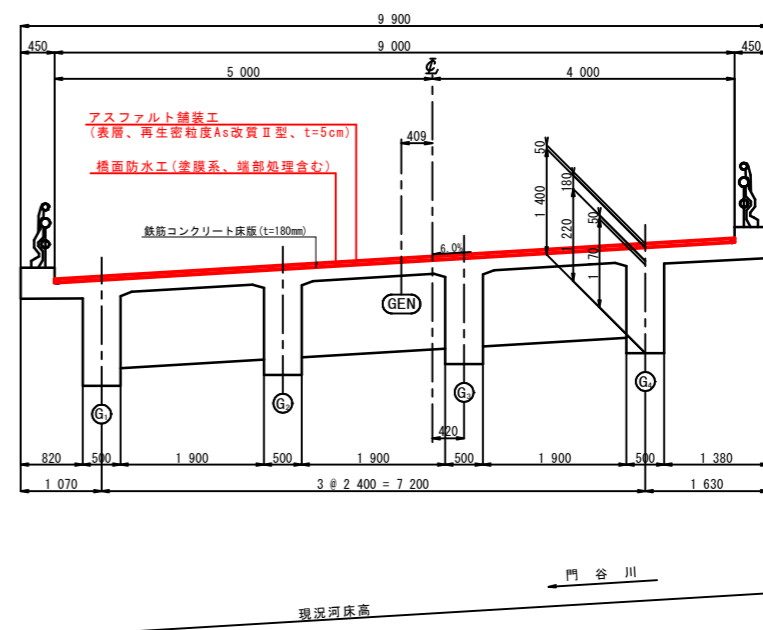
縦断面図 S=1:100



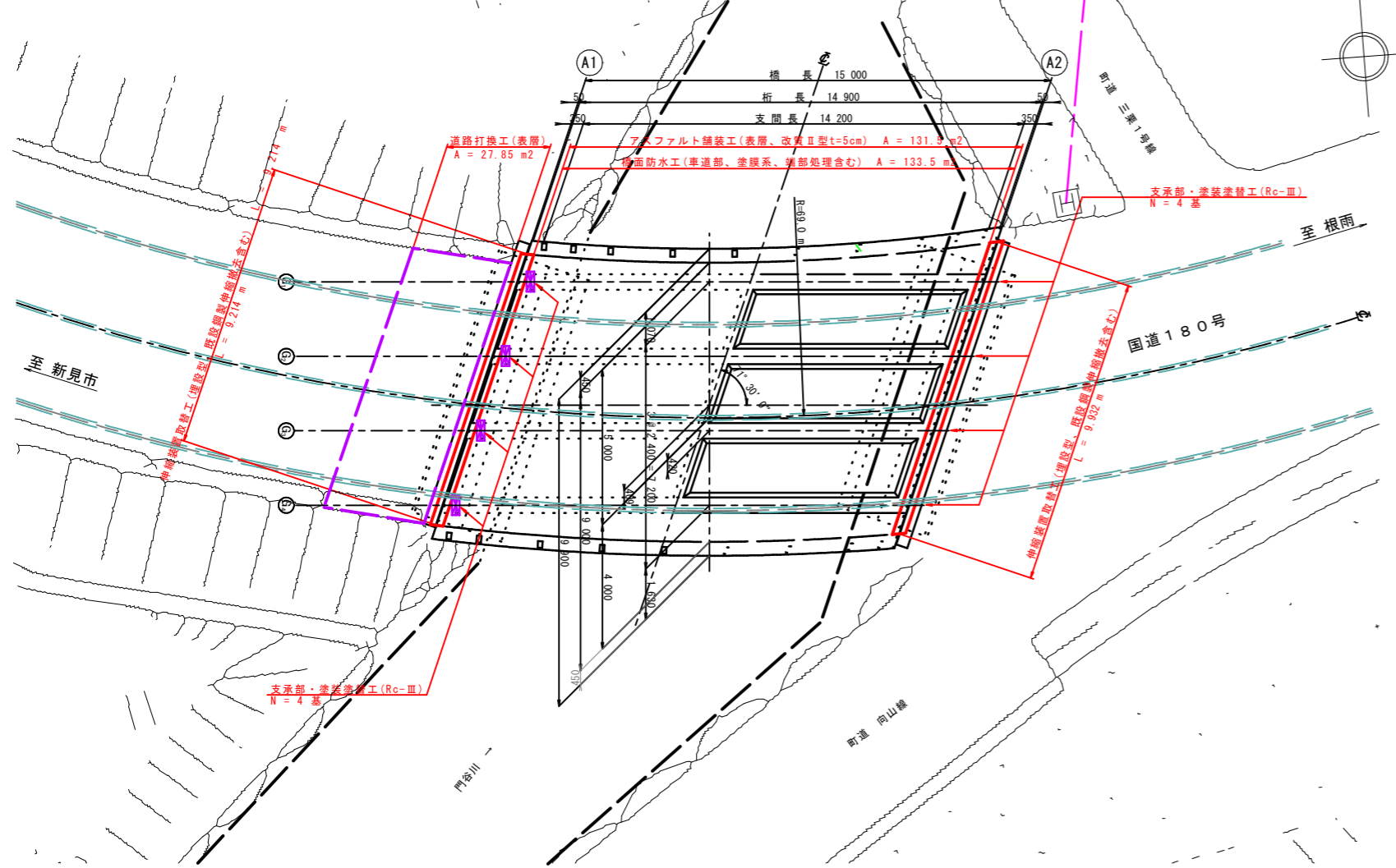
ひび割れ補修工 内訳(上・下部工計)

ひび割れ注入工 L = 8.21 m
 断面修復工①(剥離・剥落部) A = 7.123 m²
 断面修復工②(鉄筋露出部) A = 2.583 m²
 含浸材塗布工(上向き) A = 145.86 m²
 含浸材塗布工(下向き) A = 12.89 m²
 含浸材塗布工(横向き) A = 192.19 m²

横断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



区画線工(橋面舗装部、道路打換部)

車道中央線(実線黄色、W=15cm) L = 19.3 m
 車道外側線(実線白色、W=15cm) L = 38.6 m

補修工事内容

ひび割れ補修工
 支承部・塗装塗替工
 伸縮装置取替工
 橋面防水工
 アスファルト舗装工
 道路打換工
 区画線工

竣工時・設計条件	
路線名	国道180号
道路規格	推定 3種3級(設計速度V=50km/h)
大型車交通量	631台/日(H27.道路交通センサスより)
緊急輸送道路指定	第1次緊急輸送道路
橋名	新三栗橋
渡河条件	門谷川
設計荷重	1等橋(TL-20t)
橋長	15,000m
支間長	14,200m
幅員	有効幅員 9,00m 全幅 9,90m
平面線形	R=69(曲線区間中)
横断勾配	6.0%片勾配
縦断勾配	5.3%直線勾配
斜角	左71°
雪荷重	不明
形式	上部工 単線鉄筋コンクリート桁橋 下部工(基礎工) A1橋台 重力式橋台(直接基礎) A2橋台 重力式橋台(直接基礎)
支承条件	A1-M(可動)、A2-F(固定)
竣工年月	昭和45年1月(1970.1)
供用年数	約52年経過(令和4年3月現在)
適用方書	S39 鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 S43 道路橋下部構造設計指針-橋台・橋脚の設計 S43 道路橋下部構造設計指針-直接基礎の設計

補修履歴

H22橋梁補修工事

- ひび割れ補修工、断面修復工
- 含浸材塗布工
- 含浸セメント復旧工
- 橋面防水工(塗膜系、P1-A2径間)
- コンクリート舗装撤去
- 橋面舗装工(As舗装、t=5cm)
- 防護柵取替工(上流、下流)

起工	
路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)	
図名	補修一般図 (其の)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 8 葉中の内 1
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	
新三栗橋	

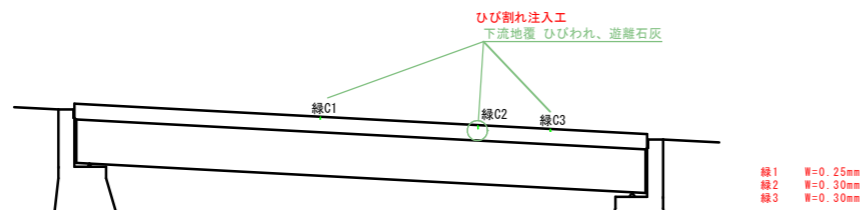
施工上の注意点

- ・施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

新三栗橋補修図 (その1)

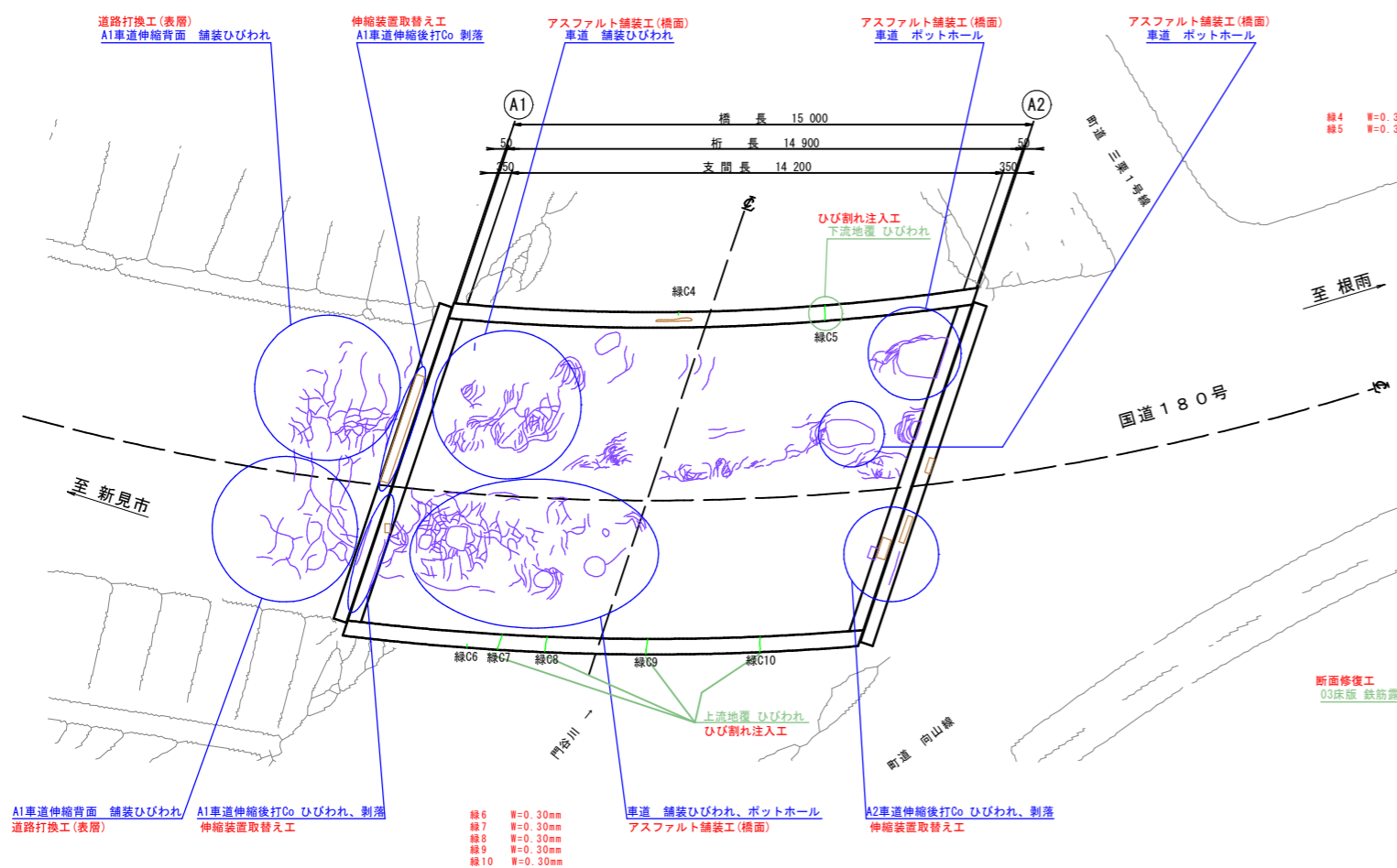
1 : 100

側面図 (下流側)



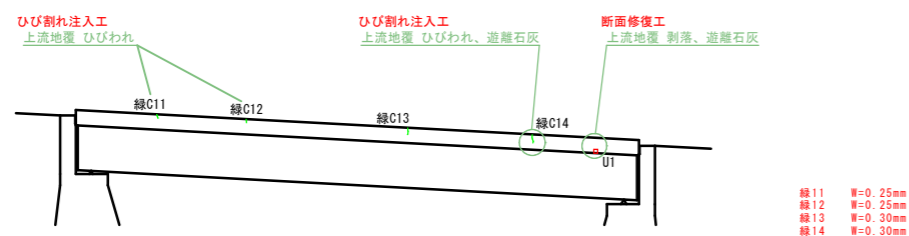
線1 W=0.25mm
線2 W=0.30mm
線3 W=0.30mm

橋面 平面図



線6 W=0.30mm
線7 W=0.30mm
線8 W=0.30mm
線9 W=0.30mm
線10 W=0.30mm

側面図 (上流側)



線11 W=0.25mm
線12 W=0.25mm
線13 W=0.30mm
線14 W=0.30mm

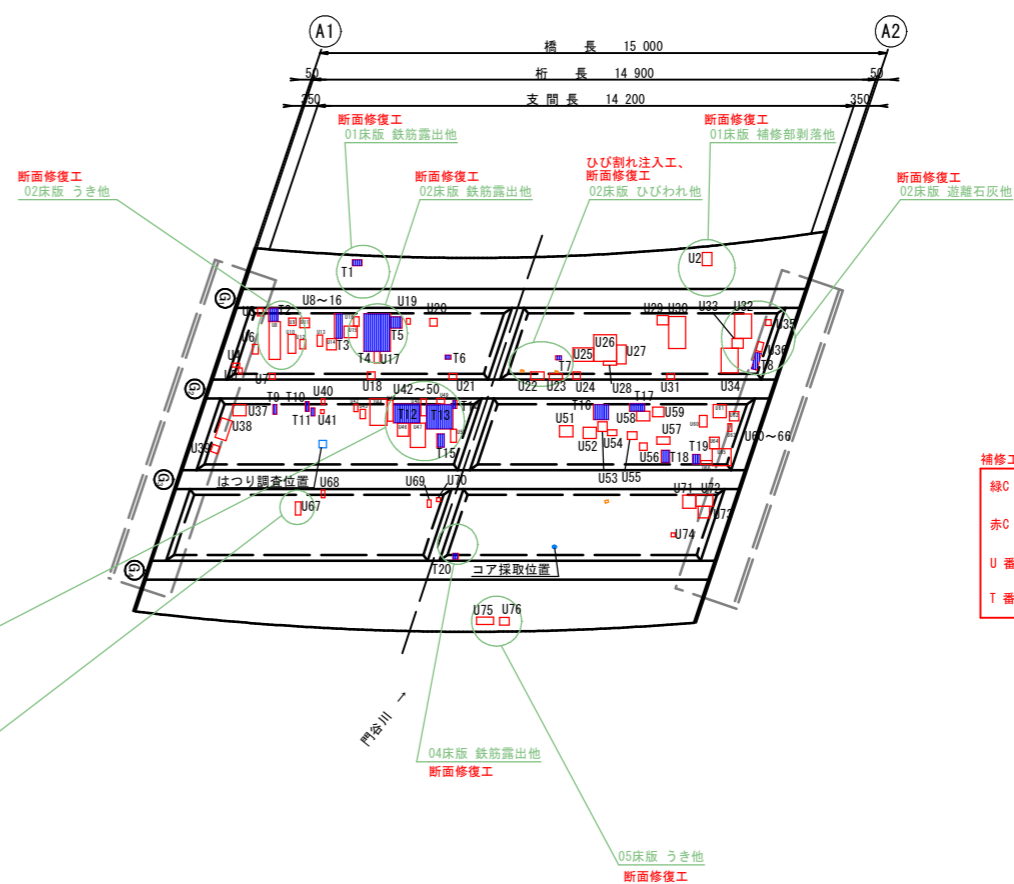
ひび割れ注入工

- 線C1 L= 0.07 m
- 線C2 L= 0.10 m
- 線C3 L= 0.06 m
- 線C4 L= 0.10 m
- 線C5 L= 0.45 m
- 線C6 L= 0.11 m
- 線C7 L= 0.46 m
- 線C8 L= 0.45 m
- 線C9 L= 0.45 m
- 線C10 L= 0.45 m
- 線C11 L= 0.11 m
- 線C12 L= 0.10 m
- 線C13 L= 0.18 m
- 線C14 L= 0.23 m

断面修復工

- 浮き・剥落部
- U1~U76は本図に未記載
(数量計算参照)
- 鉄筋露出部
- T1~T20は本図に未記載
(数量計算参照)

床版下面 平面図



凡例 (旗揚げ)

○	舗装変状
○	コンクリート変状
○	鋼材、附属物変状
	写真番号

凡例 (舗装変状)

□	ポットホール、うき
□	補修跡、段差
□	舗装ひびわれ
□	その他

凡例 (conひびわれ)

—	0.2mm以下 (補修済含む)	—
—	0.2mm~1.0mm	線C 番号
—	1.0mm以上	赤C 番号
—	遊離石灰閉塞	—
—	目地、打継ぎ	—

凡例 (con変状)

□	うき・剥落	U 番号
□	鉄筋・鋼材露出	T 番号
□	豆板・摩耗	M 番号
□	遊離石灰	—
□	漏水	—
□	その他	—

凡例 (鋼材変状)

□	腐食欠損	—
□	腐食	—
□	防食機能の劣化	—
□	その他	—

補修工法凡例

- 線C 番号—ひび割れ注入工
- 赤C 番号—ひび割れ充填工
- U 番号—断面修復工①
- T 番号—断面修復工②

※ 0.2mm以下のひび割れ、遊離石灰閉塞は非表示としている。(補修対象としないため)

施工上の注意点

- ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

起工

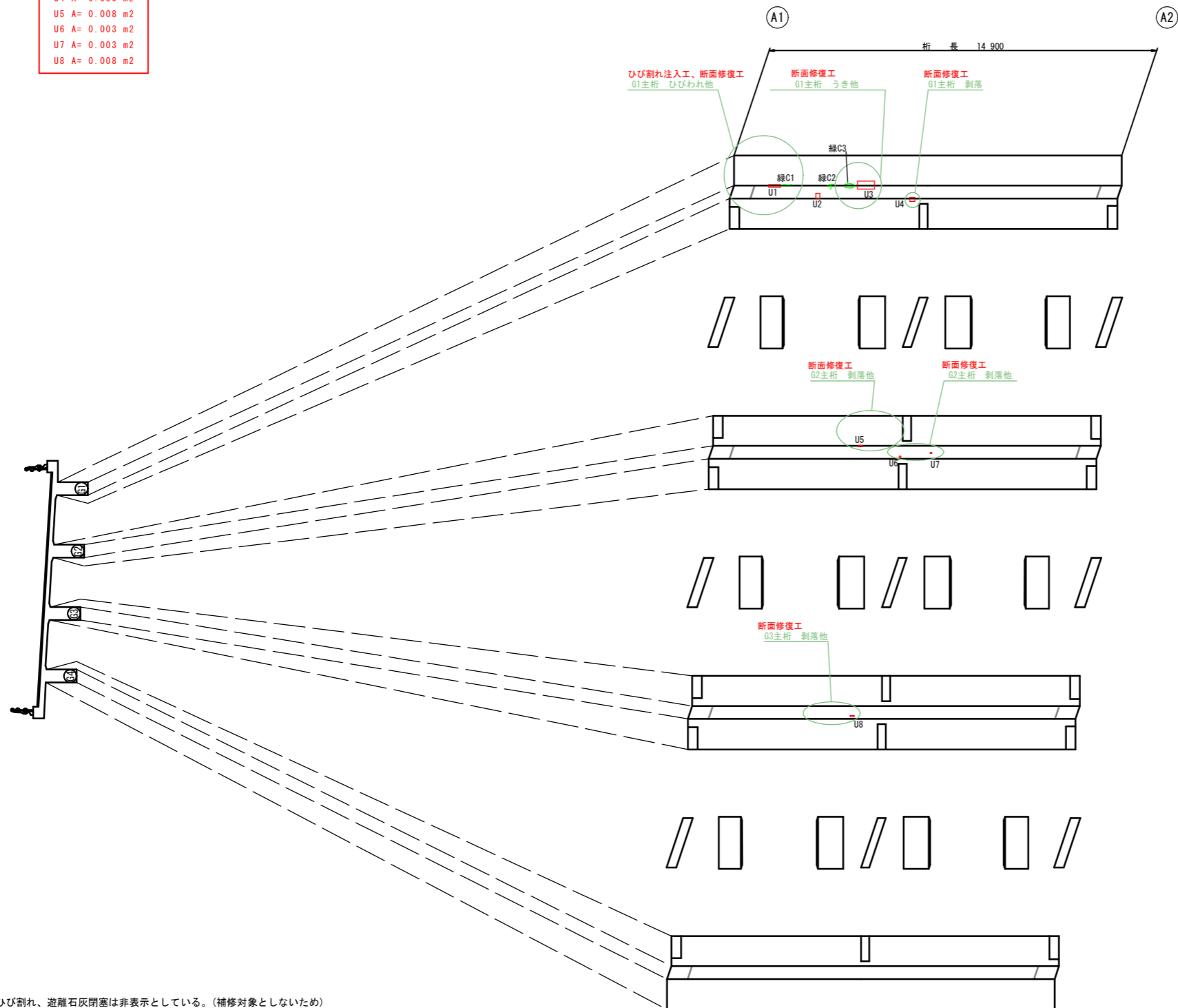
路 線 名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)	
図 名	補 修 図 (其の1/3)
位 置	日野郡 日野町 門谷
縮 尺	図 示 単 位 MM
図 号	全 8 葉中の内 2
令 和 8 年 度 施 行	鳥 取 県
日 野 振 興 セ ン タ ー	日 野 県 土 整 備 局
新三栗橋	

新三栗橋補修図 (その2)

1 : 100

主桁、横桁 展開図

ひび割れ注入工		断面修復工	
線C1 L= 0.48 m	U1 A= 0.045 m ²	U2 A= 0.030 m ²	U3 A= 0.195 m ²
線C2 L= 0.46 m	U4 A= 0.030 m ²	U5 A= 0.008 m ²	U6 A= 0.003 m ²
線C3 L= 0.84 m	U7 A= 0.003 m ²	U8 A= 0.008 m ²	



線1 W=0.50mm
線2 W=0.25mm
線3 W=0.45mm

G1~G2横桁展開図

G2~G3横桁展開図

G3~G4横桁展開図

※ 0.2mm以下のひび割れ、遊離石灰閉塞は非表示としている。(補修対象としないため)

施工上の注意点
・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

凡例 (旗揚げ)

○	コンクリート変状
○	鋼材、附属物変状
	写真番号

凡例 (conひびわれ)

	0.2mm以下 (補修済含む)	—
〰	0.2mm~1.0mm	線C 番号
	1.0mm以上	赤C 番号
	遊離石灰閉塞	—
	目地、打継ぎ	—

凡例 (con変状)

□	うき・剥落	U 番号
▨	鉄筋・鋼材露出	T 番号
▩	豆板・摩耗	M 番号
	遊離石灰	—
	漏水	—
□	その他	—

補修工法凡例

線C 番号	ひび割れ注入工
赤C 番号	ひび割れ充填工
U 番号	断面修復工①
T 番号	断面修復工②

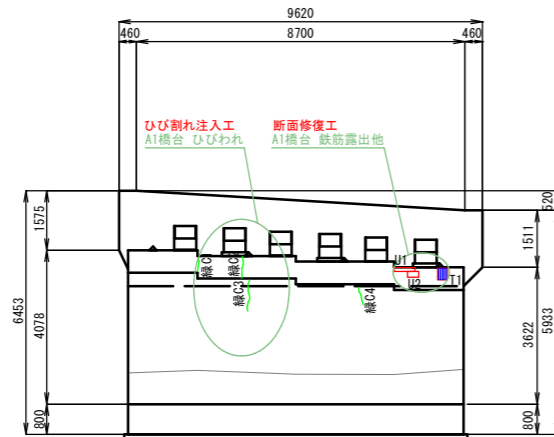
起工	
路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)	
図名	補修図 (其の2/3)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 8 葉中の内 3
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	
新三栗橋	

新三栗橋補修図 (その3)

1 : 100

A1 橋台

正面図



ひび割れ注入工

- 線C1 L= 0.35 m
- 線C2 L= 0.60 m
- 線C3 L= 0.85 m
- 線C4 L= 0.50 m
- 線C5 L= 0.81 m

断面修復工

- 浮き・剥落部
- U1 A= 0.055 m²
- U2 A= 0.045 m²
- U3 A= 0.023 m²

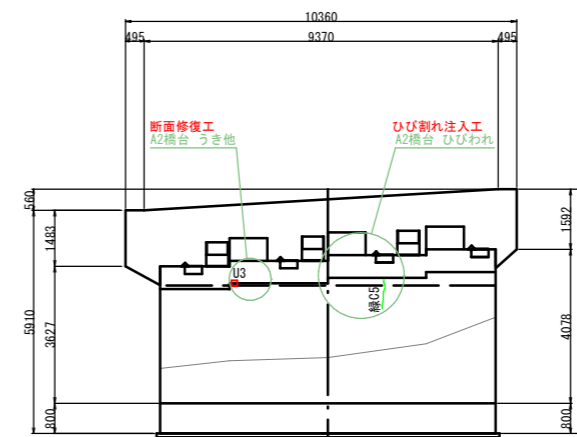
鉄筋露出部

- T1 A= 0.075 m²

- 線1 W=0.25mm
- 線2 W=0.30mm
- 線3 W=0.30mm
- 線4 W=0.30mm

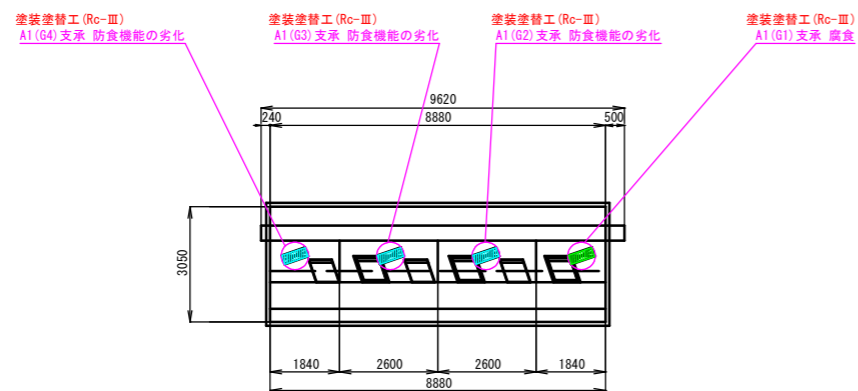
A2 橋台

正面図

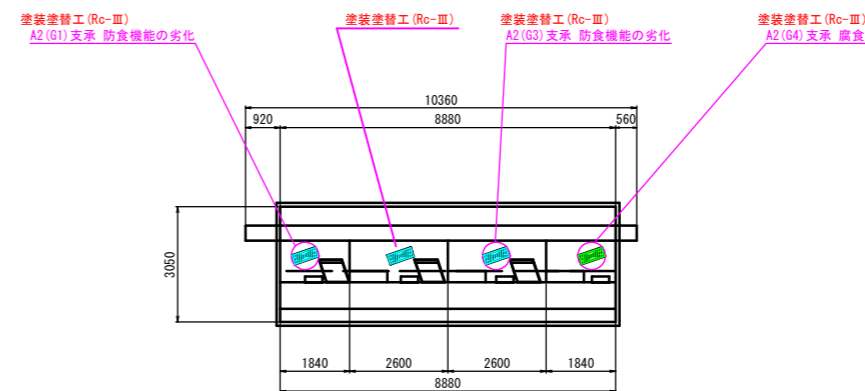


- 線5 W=0.25mm

平面図



平面図



※ 0.2mm以下のひび割れ、遊離石灰閉塞は非表示としている。(補修対象としないため)

施工上の注意点

- ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

凡例 (旗揚げ)

○	コンクリート変状
○	鋼材、附属物変状
	写真番号

凡例 (conひびわれ)

	0.2mm以下 (補修済含む)	—
〰	0.2mm~1.0mm	線C 番号
	1.0mm以上	赤C 番号
	遊離石灰閉塞	—
	目地、打継ぎ	—

凡例 (con変状)

□	うき・剥落	U 番号
□	鉄筋・鋼材露出	T 番号
□	豆板・摩耗	M 番号
	遊離石灰	—
	漏水	—
□	その他	—

凡例 (鋼材変状)

□	腐食欠損	—
□	腐食	—
□	防食機能の劣化	—
□	その他	—

補修工凡例

線C 番号—ひび割れ注入工

赤C 番号—ひび割れ充填工

U 番号—断面修復工①

T 番号—断面修復工②

起工

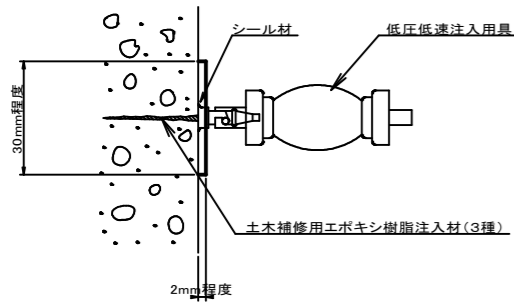
路線名	国道180号		
	国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)		
図名	補修図 (其の3/3)		
位置	日野郡 日野町 門谷		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 8 葉中の内 4		
	令和 8 年度施行	鳥取県	
	日野振興センター 日野県土整備局		
	新三栗橋		

補修構造図

ひび割れ補修工

ひびわれれ注入工 (ひび割れ幅 0.2mm以上1.0mm未満)

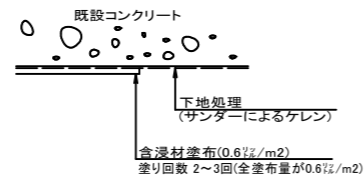
※注入用具の取付ピッチは300mmを標準とする。



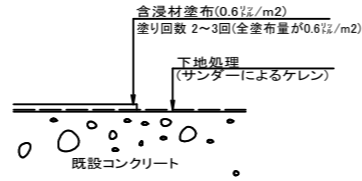
含浸材塗布工

含浸材塗布工 S=1:10 ①塩害、中性化対策 ②0.2mm未満のひび割れ充填

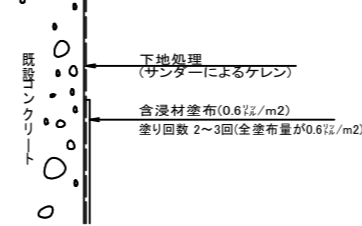
水平上向き塗りの場合



水平下向き塗りの場合



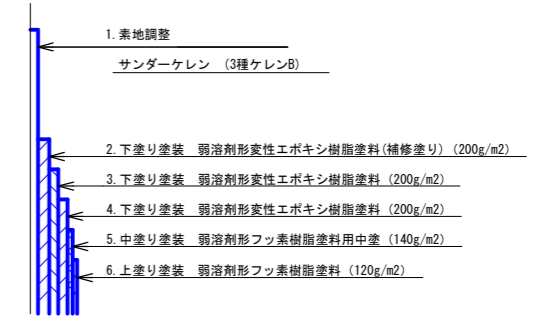
垂直横向き塗りの場合



※ プロテクトシルCIT相当品(鉄筋腐食抑制の効果が期待できる材料)による塗布とする。
 ※ 塩害、中性化対策として同等以上の効果が得られれば市場性を考慮し、材料の変更も可能である。
 ※ 本材料の使用にあたっては、所定の養生時間を必ず確保すること。

塗装塗り替え工

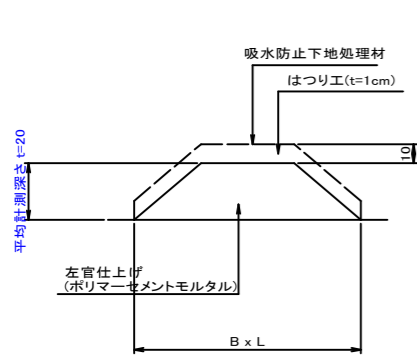
支承・塗装塗替仕様 (Rc-Ⅲ)



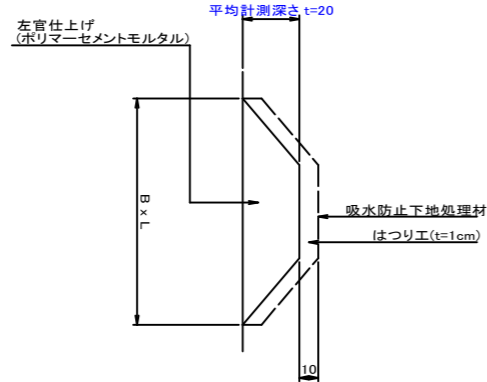
断面修復工

左官工法タイプ① S=1:2 浮き・剥落部

【水平上向き面】

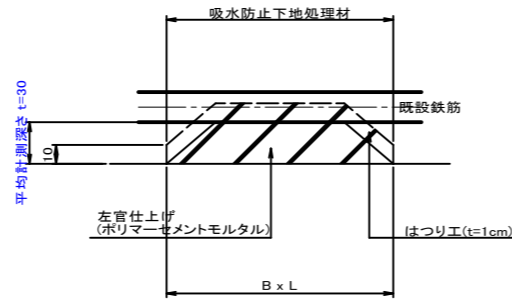


【垂直横向き面】

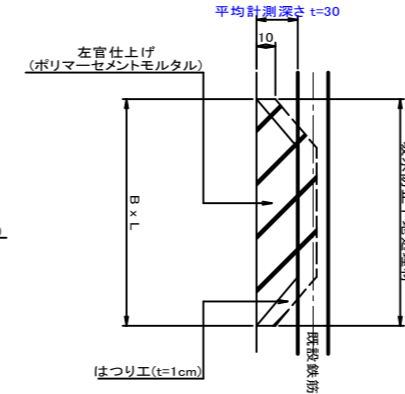


左官工法タイプ② S=1:2 鉄筋露出部

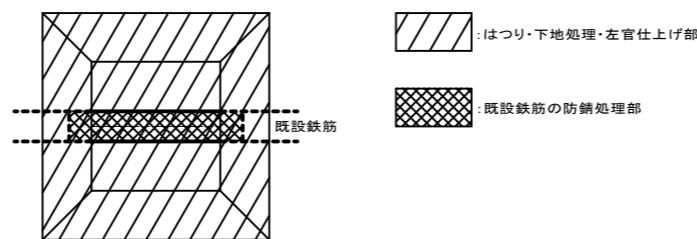
【水平上向き面】



【垂直横向き面】



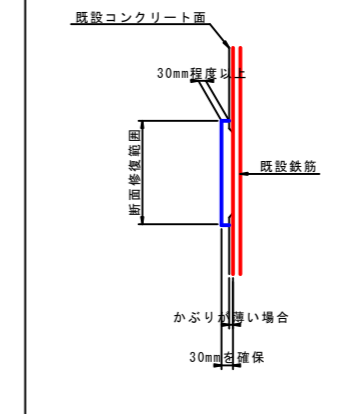
平面図



はつり・下地処理・左官仕上げ部
 既設鉄筋の防錆処理部

参考図

【かぶりが不足している箇所の鉄筋露出部】



※ かぶりが薄い箇所の断面修復は、既設コンクリートよりも1cm程度以上盛り上げて、復旧後に3cm程度のかぶりが取れるよう施工する。

施工上の注意点

- ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

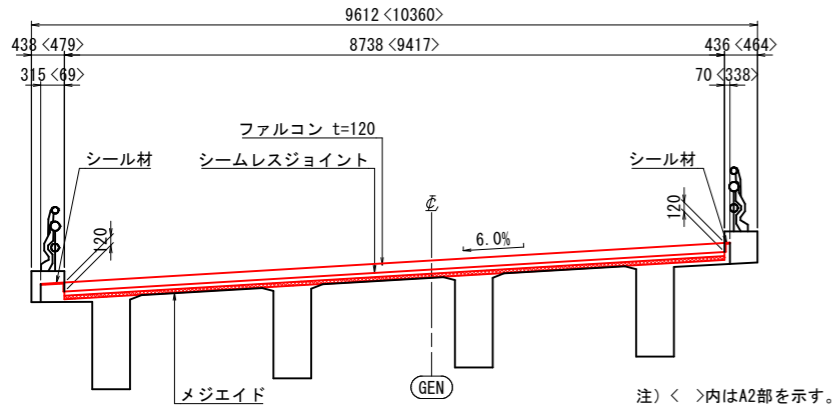
起工

路線名	国道180号		
	国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)		
図名	補修構造図 (其の)		
位置	日野郡 日野町 門谷		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 8 葉中の内 5		
	令和 8 年度施行	鳥取県	
	日野振興センター 日野県土整備局		

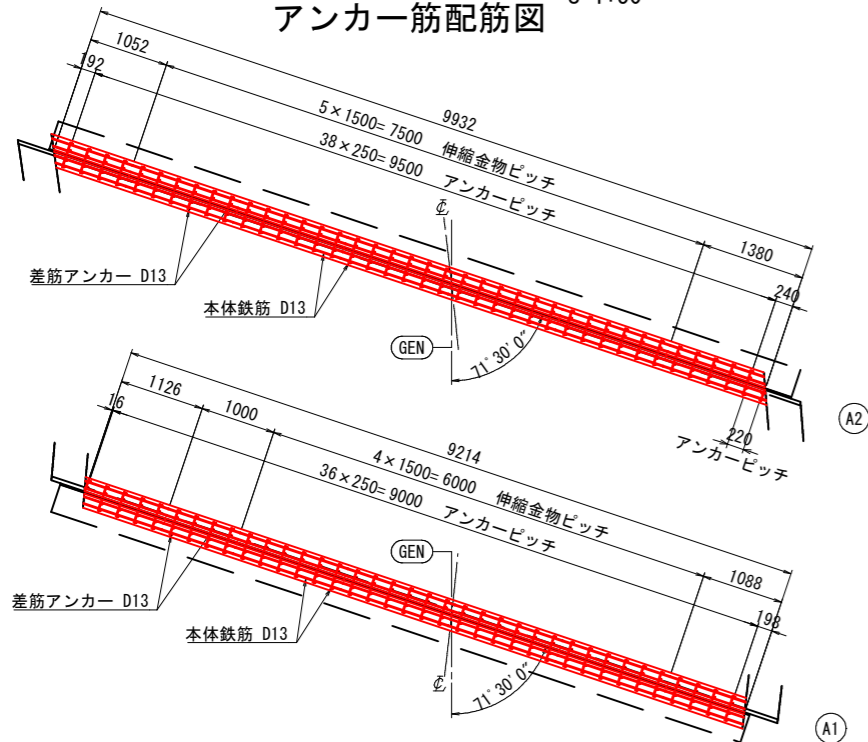
新三栗橋

新三栗橋 伸縮装置補修図

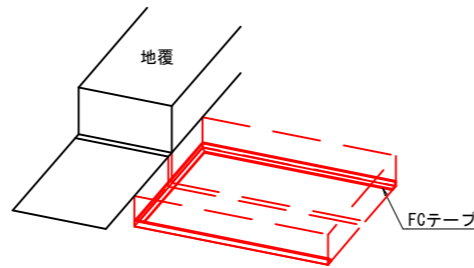
桁端部 断面図 S=1:50



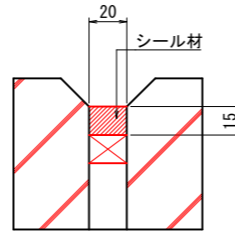
部材平面図及び
アンカー筋配筋図 S=1:50



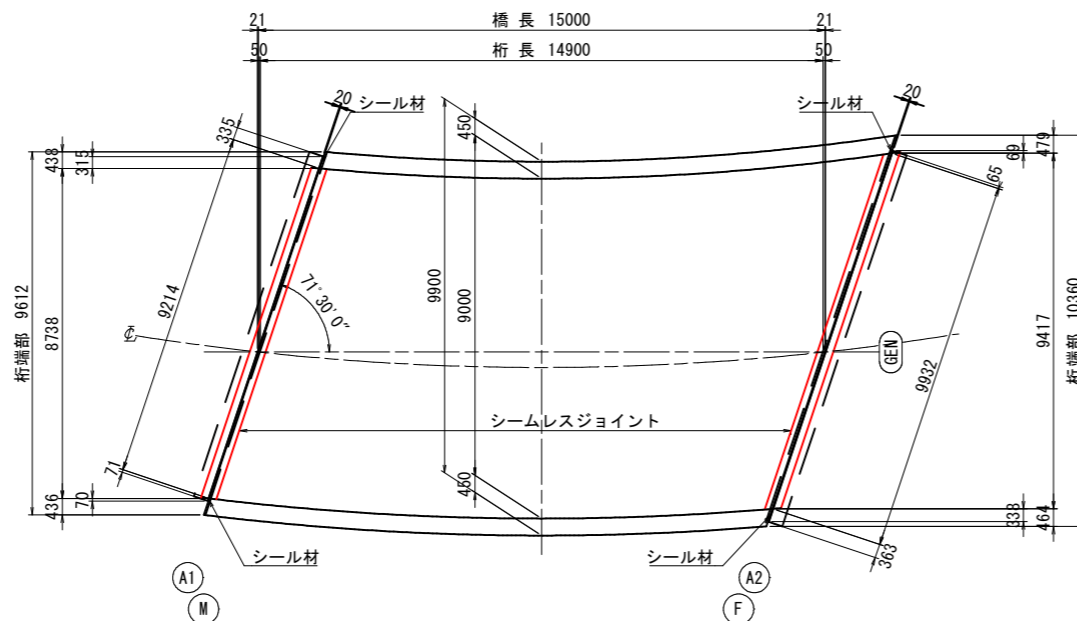
施工境界部イメージ図



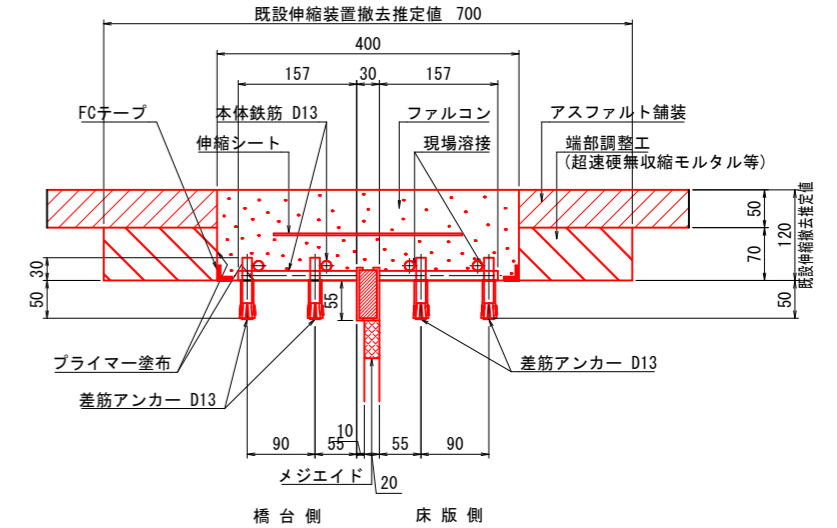
地覆部断面図 S=1:2



配置図 S=1:100



伸縮装置取付断面図 S=1:5



- 注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
- 注2) 伸縮装置箱抜部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
- 注3) 端部調整工の定着用鉄筋は必要に応じて別途考慮のこと。
- 注4) ファルコンを舗設する際には、FCテープを使用すること。
- 注5) FCテープは施工箇所を囲むようにファルコン舗設幅分も設置すること。
- 注6) 既設伸縮装置は、簡易鋼製ジョイントを想定。

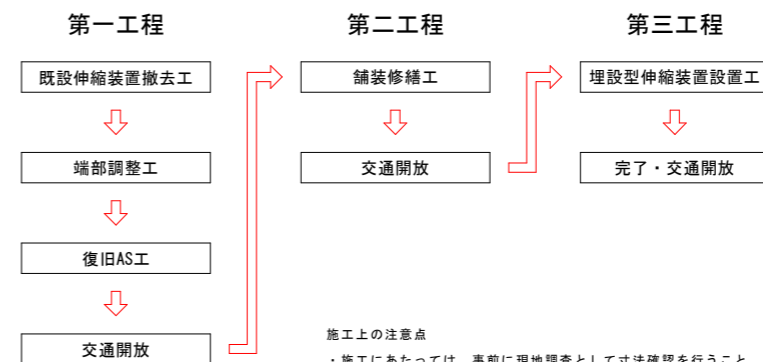
数量表 (設置)

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
伸縮金物	シームレスジョイント SJ-M型	m	19.146	本体鉄筋・伸縮シート装備
プライマー	FCコート	L	6.1	
弾性合材	ファルコン	m ²	0.919	
止水材	メジエイド	m	19.146	
特殊瀝青テープ	FCテープ	m	40.379	
差筋アンカー	D13	本	304	

数量表 (撤去及び他材料)

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
既設伸縮装置撤去	簡易鋼製ジョイント	m	19.146	
復旧材	アスファルト	m ²	1.206	
端部調整工	超速硬無収縮モルタル等	m ²	0.402	
シール材	シリコン系	L	0.4	

施工フロー



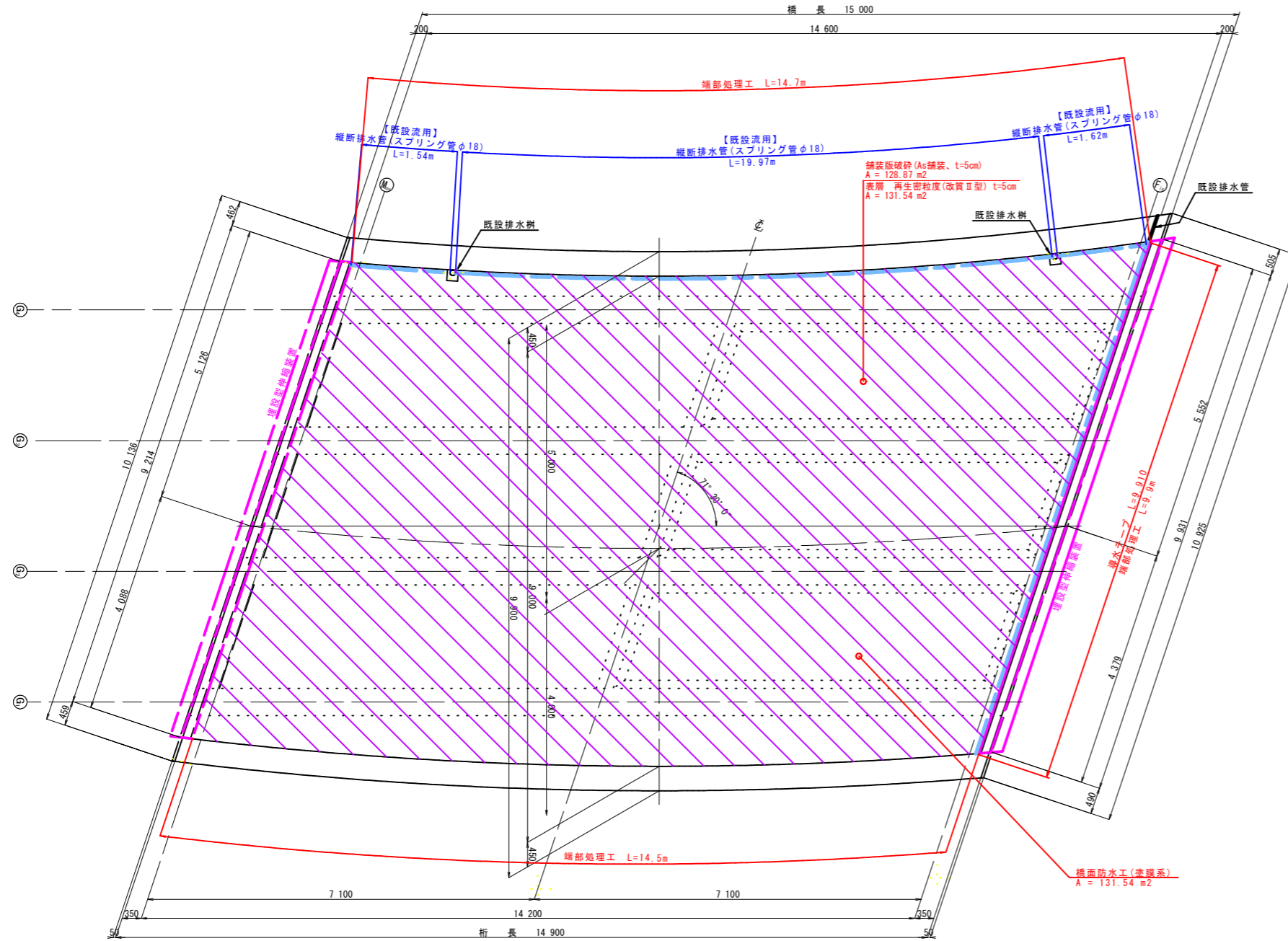
- 施工上の注意点
- ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
 - ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

起工	
路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)	
図名	伸縮装置補修図 (其の)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 8 葉中の内 6
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	

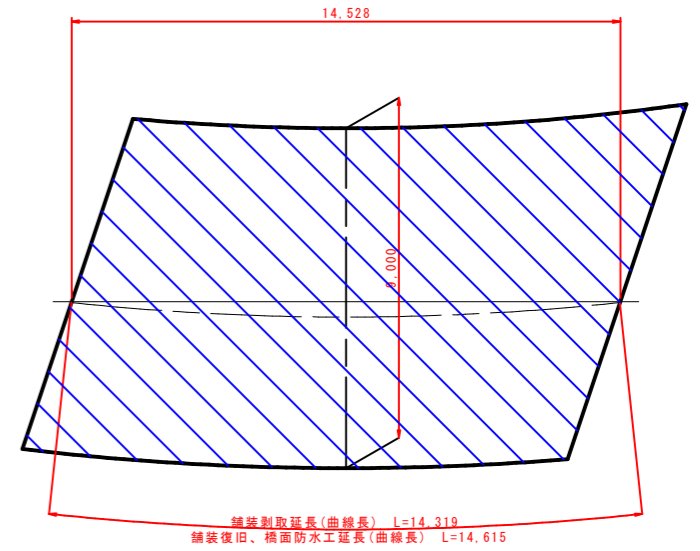
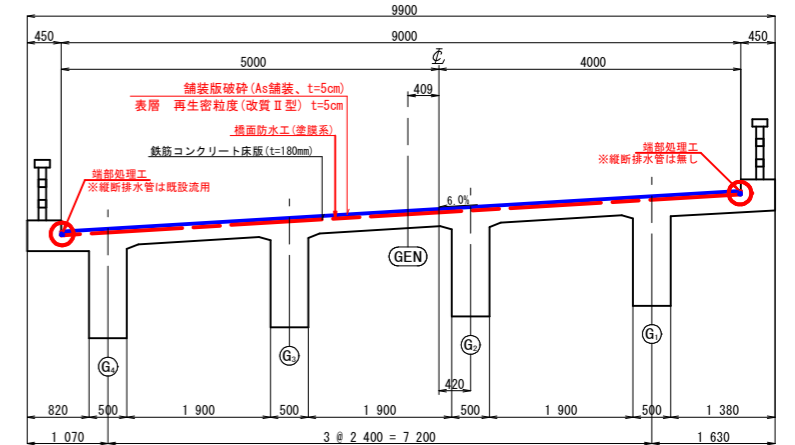
新三栗橋

橋面防水工詳細図

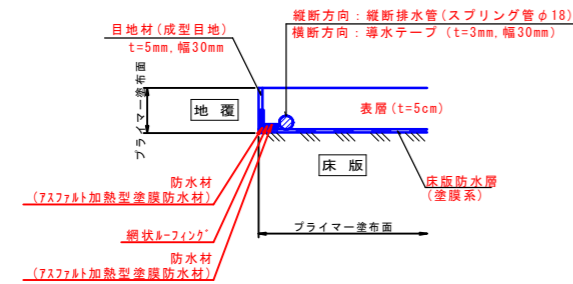
平面図(橋面) S=1:50



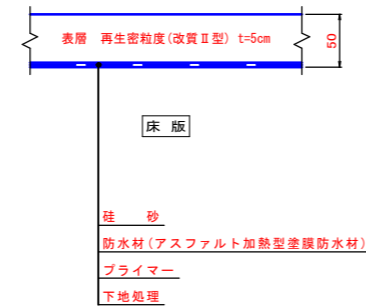
横断面図 (A-A) S=1:50



車道部・端部処理図 S=1:5



車道部・床版防水詳細図 S=1:5



- 注)
- 「防水層」は、舗装分立ち上げて設置すること。ただし、「防水層」と同等の性能を有する端部処理を行う場合は、この限りではない。
 - 上図は端部処理の参考図とする。(同等以上の構造を要する処理があれば他の方法でも可)
 - 舗装厚さは現地での舗装制ぎ取り時に確認し決定すること。

施工上の注意点

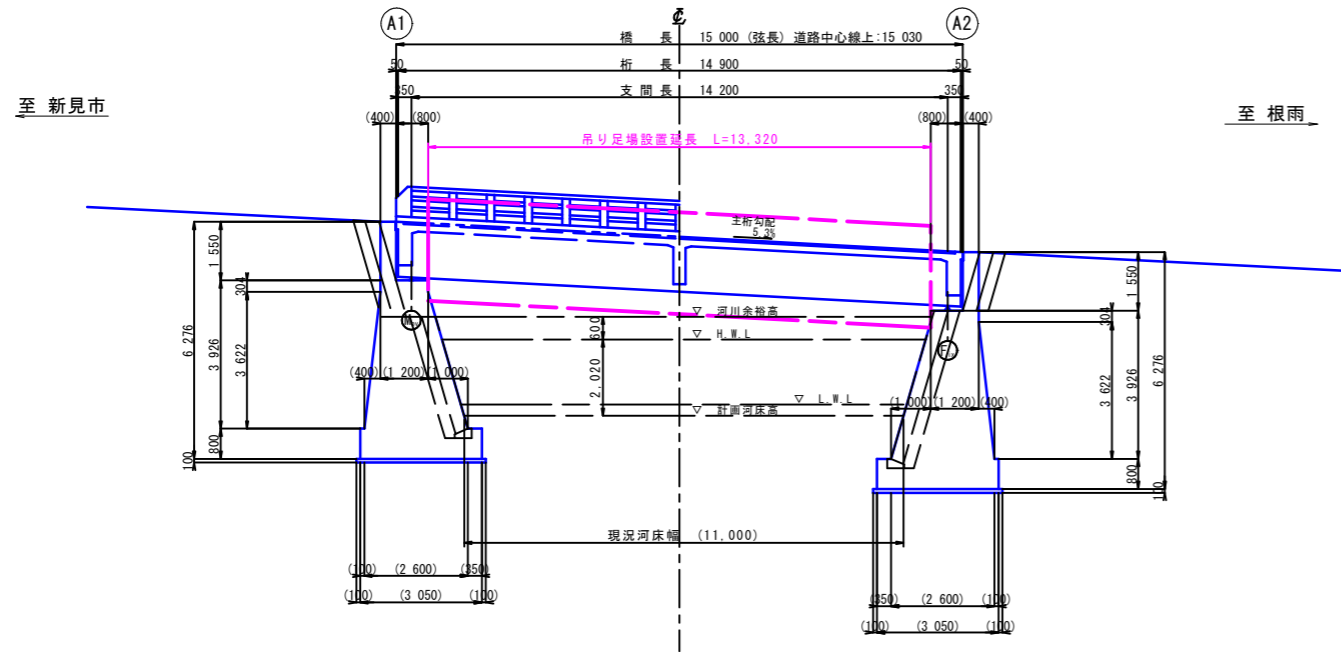
- ・施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
- ・上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
- ・縦断排水管は既設を流用する。(H22に設置済みの材料を流用)

起工

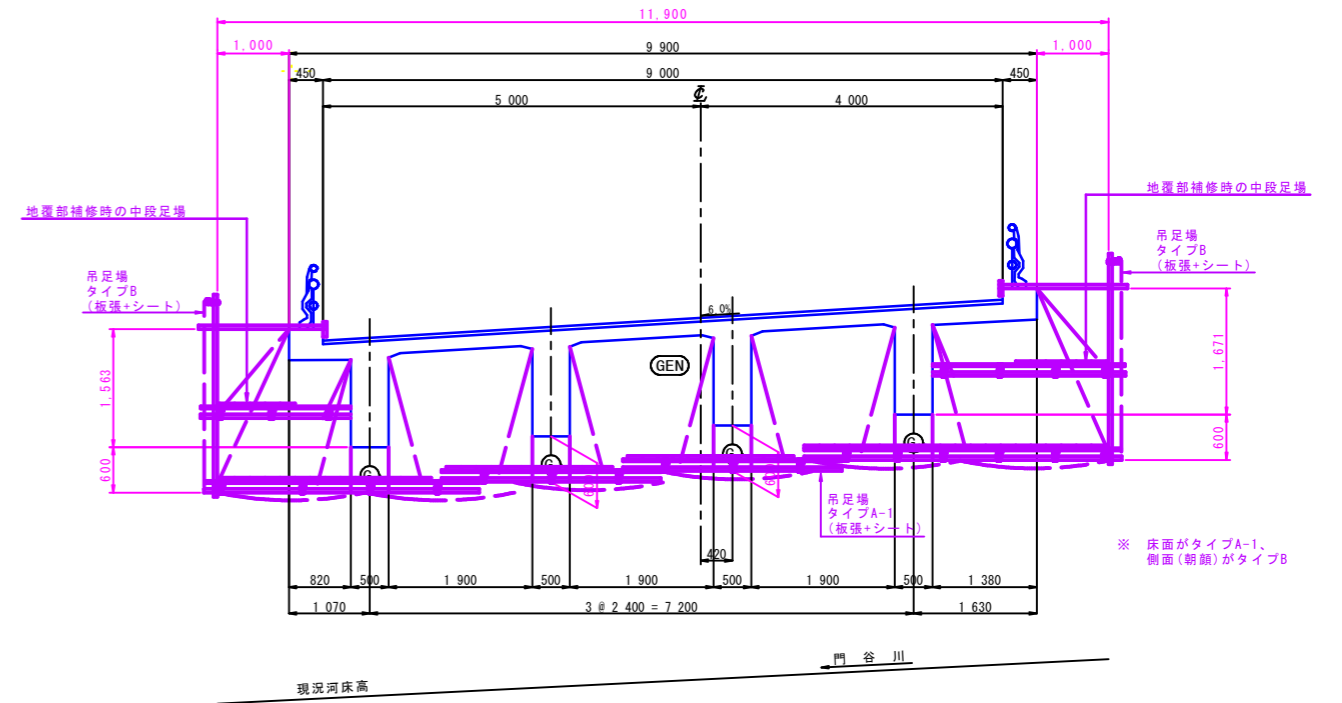
路線名	国道180号		
図名	国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)		
位置	日野郡 日野町 門谷		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 8 葉中の内 7		
令和 8 年度施行	鳥取県		
日野振興センター 日野県土整備局			
新三架橋			

仮設計画図（吊り足場）

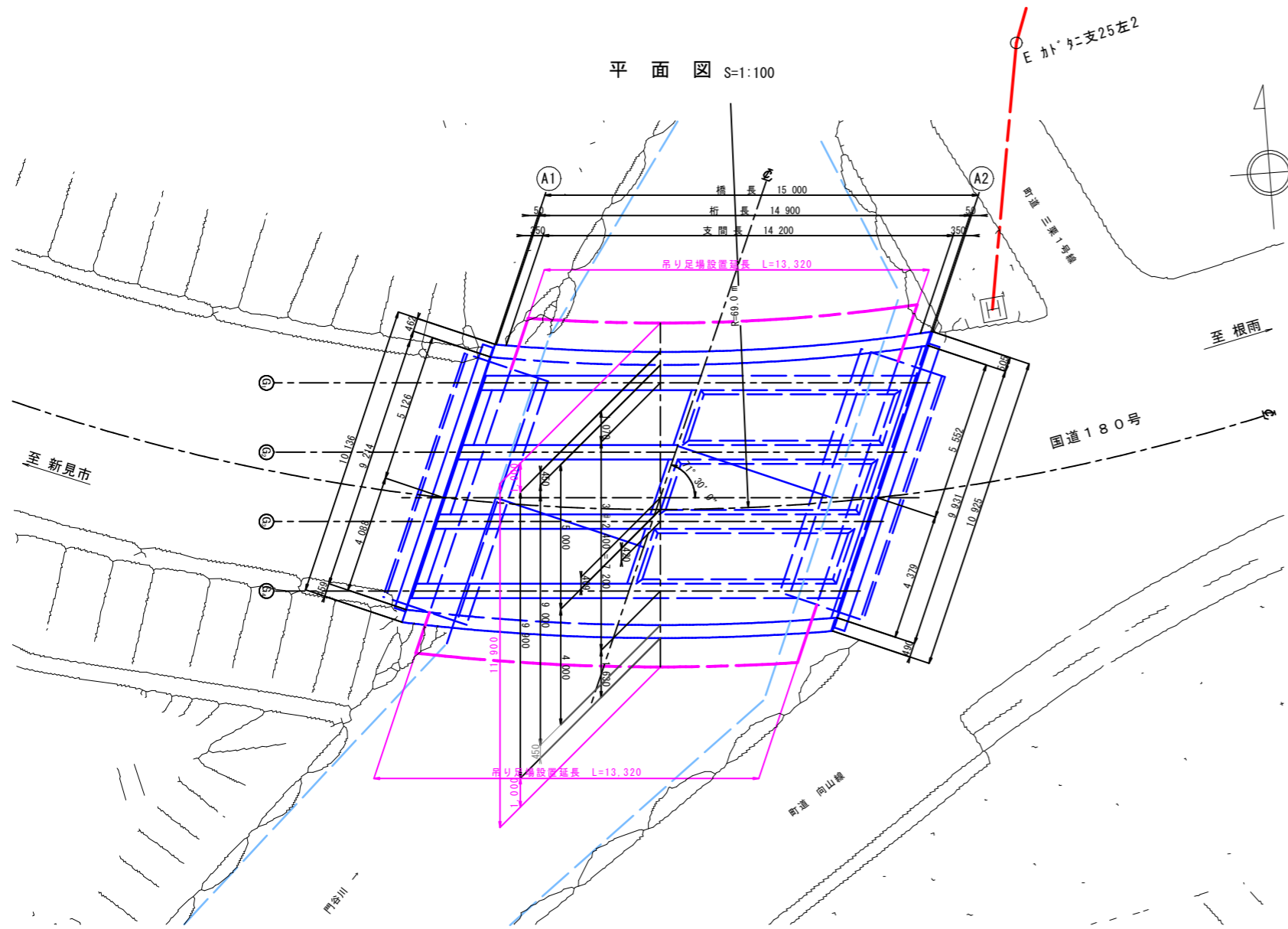
縦断面図 S=1:100



横断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



- 吊り足場 参考条件
- ※ 吊り足場の強度計算に使用する荷重条件は以下を基本とする。
 1スパン当たり
 ①作業員3名 (70kg × 3人=210kg)
 ②工具等10kg程度
 ③資材等50kg程度
 総重量 ΣW=270kg
 衝撃等の割り増し 1.2程度
 基本重量 W=270kg × 1.2=324kg以上

※ 含浸材は液体(ジェル状)であるため、塗装作業と同等の防護を行うものである。

起工	(参考図)
路線名	国道180号
国道180号(門之上橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)	
図名	橋梁一般図 (其の)
位置	日野郡 日野町 門谷
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 8 葉中の内 8
令和 8 年度施行	鳥取県
日野振興センター 日野県土整備局	
新三架橋	

施工上の注意点
 ・ 施工にあたっては、事前に現地調査として寸法確認を行うこと。
 ・ 上記調査結果より、変更が生じた場合は、監督員と協議すること。